

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（泊3号炉）
（595）
2. 日 時：令和5年12月14日 10時00分～12時15分※一時中断
13時30分～15時35分
3. 場 所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

忠内安全規制調整官、江寄企画調査官、熊谷主任安全審査官、
藤原主任安全審査官、小野安全審査官※、谷口技術参与、中房技術参与、
三浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

石田技術参与

北海道電力株式会社：

原子力事業統括部 部長（安全設計担当）、他12名

原子力事業統括部 原子力安全推進グループ（担当課長）※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

- （1）泊発電所3号炉 耐津波設計方針について（入力津波の設定に係る指摘事項回答及び入力津波の評価条件について）
- （2）泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について（設計基準対象施設等）第5条 津波による損傷の防止（DB05 r. 3. 38）
- （3）泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について（設計基準対象施設等）比較表 第5条 津波による損傷の防止（DB05-9 r. 3. 3）
- （4）泊発電所3号炉 審査会合における指摘事項に対する回答一覧表（第5条 津波による損傷の防止（耐津波設計方針））
- （5）泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト（第5条 津波による損傷の防止（入力津波））
- （6）ヒアリングにおけるコメント回答資料（ID：230928-18）
- （7）泊発電所3号炉 耐津波設計方針について（漂流物の影響評価）
- （8）泊発電所3号炉 耐津波設計方針に係る指摘事項回答（漂流物の影響評価）

- (9) 泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について（設計基準対象施設等）第5条 津波による損傷の防止（漂流物関連）（DB05 r. 3. 38）
- (10) 泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト（第5条 津波による損傷の防止（漂流物））
- (11) 泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト 第5条 津波による損傷の防止（耐津波設計方針）

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	はい。規制庁藤原です。時間になりましたのでヒアリングを始めます。泊発電所3号炉の耐津波設計方針の入力者の設定に係る指摘事項回答とあと、入力津波の評価条件について、事業者の方から説明ください。
0:00:16	はい。北海道電力の高橋です。本日は泊3号炉の耐津波設計方針のうち入力津波の設定に関わる指摘事項ということで、
0:00:27	こちらの10月31日の会合で、一応上昇側についてはご説明させていただいてございますけれども、今回下降側についても、ハザード側の方を
0:00:42	決まってきたでございますのでその辺を反映させていただいたのと、あとは3号の放水側の流路縮小呼応でございますけれども、
0:00:53	こちらの妥当性ということで水理模型実験を計画してございますので、そちらのお話をさせていただきたいと思えます。
0:01:03	それでは用紙の方からご説明させていただきます。
0:01:07	北海道電力のよろしです。資料1-1の方でご説明させていただきます。
0:01:13	まず資料1-1及びまとめ資料もそうなんですけれども、10月31日の審査会合から変更箇所を黄色ハッチングでして、しておりますのでそのあたりを中心にご説明させていただければと思えます。
0:01:29	1ページをご覧ください。
0:01:31	1ページにつきましては10月31日の会合踏まえて審査経緯を更新したのと、本日の説明事項として、
0:01:41	追加で指摘事項の回答がございますのでそちらについて修正してございます。
0:01:47	2ページご覧ください。
0:01:50	本間アノ説明事項の位置付けとしましてはこれまでと、大きくは変わってございませんけれども指摘事項追加3件の回答をするということと、
0:02:00	添付資料4の港湾内の局所的な海面の冷気についてというところで追加してございます。
0:02:10	続きまして5ページご覧ください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:14	5 ページの方で前提とする基準津波ということで、介護時点では上昇側の方をご説明してございましたけれども、今回下降側の基準津波として、
0:02:27	波源 I から N の方、4 ケースにつきまして追加して、それを前提に資料を修正してございます。
0:02:37	6 ページご覧ください。
0:02:39	6 ページにつきましては入力津波の影響要因の設定についての考え方ですけれどもこれも 31 日、10 月 31 日の会合でご説明してございますけれども、
0:02:52	右下に記載の通り花崗岩を含めた基準津波の広報により、遡上解析を実施すると、定量的評価を実施したその結果について、
0:03:02	資料を更新してございます。
0:03:09	続きましてちょっとページ飛びまして 21 ページからご覧ください。
0:03:15	20 ページまでは下降側の結果を反映したというところと、あと、少し記載の適正化をしてございますが、説明内容について大きく差はないのでちょっと割愛させていただきます。
0:03:31	21 ページからですね影響要因の抽出の考え方でございますけれども、10 月 31 日の会合時点では、影響要因の抽出と、
0:03:41	いうことでまず津波水位等の最大値が認められた地形変化を影響要因の一つとして抽出するということでしたが、
0:03:52	もう少しそこから検討を加えまして、このようなフローで
0:03:59	検討するということに見直してございます。
0:04:04	具体的にはですね検討結果の四つめの三つ目のポツですかね。
0:04:10	地形変化 1 というのは前回の会合の通り、
0:04:15	最大値が認められた地形変化というところで抽出したというのが地形変化と 1、1 として位置付けてございますけれども、
0:04:24	四つ目のポツでございます通り、地形変化 1 と組み合わせた場合に、津波水位等の最大値を更新する可能性がある地形変化、それを地形変化にと名付けておりますけれども、
0:04:38	地形変化 1 との組み合わせを考慮した遡上解析を実施しまして、津波水位等の最大値が認められた地形変化の組み合わせを入力津波、
0:04:48	設定の影響要因として設定すると。
0:04:51	いうことで最大値を抽出するフローということで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:56	伏見直してございます。
0:04:59	22 ページご覧ください。
0:05:02	定性的評価の方なんですけれども、
0:05:05	海域の仙骨につきましては以前は炊事等させていただいてたんですけれども、
0:05:13	既往文献の確認結果により地形変化による影響は見られないということで影響要因として設定しないということで、
0:05:22	正常解除してございます。
0:05:26	続きまして 28 ページご覧ください。
0:05:32	28 ページにつきましては地形変化 1 の抽出と、
0:05:36	ということでステップワンとしてございますけれどもこちらで数各評価項目、包丁で前面 3 号取水口 12 号取水口放水コウそれぞれについて、
0:05:47	最大値が認められる地形変化を、赤の表の赤の囲ったところで抽出してございます。
0:05:56	29 ページご覧ください。
0:06:00	29 ページ、ステップ 2 として地形変換の抽出ということで最大値が認められる各ケース、評価項目ごとの各ケースで、
0:06:11	基本係数、
0:06:13	もう水と比較しまして各地形変化で、増井の差分がプラスになっている地形変化を抽出すると。
0:06:23	ということで青で囲った地形変化についてはす。
0:06:30	さらに地形変化にとして抽出するというようなフローで考えてございます。
0:06:36	3 号取水口につきましては
0:06:40	5 メーターちんカーが地形変化 1 として抽出されたのに加えて海域 2 メーター沈下糖度捨て場の崩壊、12 号遂行につきましては、
0:06:51	陸域 5 メーター沈下っていうのを組み合わせの候補として抽出しております。
0:06:58	30 ページをご覧ください。
0:07:02	ステップ 1 と 2 で抽出した地形変化 1 と 2 の組み合わせ評価をここでは行ってございます。
0:07:09	3 号取水口につきましては三つの地形変化がありますけれども、そのうちの二つの地形変化の組み合わせと、三つすべて組み合わせた地形変化の

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:22	を考慮しまして遡上解析を行いましたところ、
0:07:26	13.79 メーターというのが
0:07:30	最大水位となったという結果になりました。
0:07:34	一方 12 号取水口につきましては地形変化地すべり地形一通り区域 5 メーター沈下を組み合わせたところ、12.74 メーターになりましたので地すべり地形市単独で組み合わせたのが最大になったと。
0:07:50	ということで、影響要因の設定としては、青で囲ったところは考慮せずに、12 号取水口については地すべり地形 1 のみを設定すると。
0:08:01	いう考えで
0:08:03	影響要因を抽出しました。
0:08:07	31 ページをご覧ください。
0:08:10	水加古川の地形変化の充実というところでございますけれども、
0:08:15	波源 I から L のうち、基本ケースの方は下のところで
0:08:22	貯留堰を下回る時間が最大となりましたので、もともと基準津波で想定している防波堤の損傷、
0:08:31	を除き地形変化として、抽出はしないという結果になりました。
0:08:36	そのまとめとしまして 31 ページの一番下の表の通りとなっております。
0:08:44	32 ページをご覧ください。こちらからは津波高さ以外ということで最大流速の抽出結果ということになってございますけれども、
0:08:55	まず最大流速、
0:08:58	が最大値が認められる地形変化としましては海域 2 メーター沈下。
0:09:04	ケースとしましては原形の防波堤損傷奈須っていうところで、17.78 メーターパーセクが重視されています。
0:09:13	33 ページをご覧ください。
0:09:16	さらに基本ケースよりプラスになった地形変化を確認しますと地すべり地形 1 が抽出されましたので、
0:09:27	これらの組み合わせ評価を行います。34 ページの通り、
0:09:32	組み合わせ評価の結果 17.86 メーターパーセクということで、最大値を更新しましたので、
0:09:39	海域 2 メーター沈下等地すべり地形 1、両方を影響要因として設定します。
0:09:48	A で 35 ページ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:50	その他の要因については以前から変更ございませんので割愛させていただきます。
0:09:58	まとめの方につきましては、今まで申し上げましたようなことを資料中に反映してございます。
0:10:07	続きまして42ページから感度解析の解析条件解析モデルの方のここ、修正箇所についてご説明します。
0:10:19	42ページ、これまで3号取水炉放水炉、12号取水炉について解析条件解析モデルについてご説明しておりますが、
0:10:30	今回1号及び2号の放水炉につきまして解析条件、モデルについて新たに追加してございます。
0:10:39	そちらが47ページ。
0:10:41	の方にまとめていると。
0:10:44	いう状況でございます。
0:10:47	48ページをご覧ください。
0:10:50	48ページにつきましては、放水施設の損傷の考慮についてということで、2月2日の審査会合で、ホース1及び下部の基礎ステーション2の地震による損傷とか、
0:11:05	そういったものの津波の流入位置の変化について、
0:11:09	評価の影響を検討した上で評価の妥当性を説明するというところでございますけれどもこちらは、
0:11:18	通水断面の減少、閉塞によって、流入量は小さくなるので、保守的、健全状態の方が保守的ということでまとめてございます。
0:11:31	50ページご覧ください。
0:11:34	50ページからは3号炉放水ピット流路縮小工への1次元解析モデル適用の妥当性について、
0:11:43	記載してございます。
0:11:46	回答概要に記載してございます通り、管路解析で使用している1次元不定流解析の解析条件及び損失水頭算定コウ式の適用性及び妥当性について、
0:11:59	3次元解析、水理模型実験及び1次元解析を行いまして、
0:12:05	定常流による損失係数の確認制限はによる流路縮小工を設置した放水ピット内の生挙動の確認、
0:12:15	により、1次元モデル次元解析モデル適用の妥当性を確認いたします。今回はその方針のみの説明としてございまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:25	最終的な結果につきましては4月の予定されている会合で示すということで考えてございます。
0:12:34	52ページご覧ください。
0:12:39	52ページでその妥当性検証方法の概要及び対象範囲と、
0:12:45	ということでございますけれども、
0:12:47	水理模型実験3次元解析それぞれ特徴がございましてその特徴を踏まえて1次元解析結果と比較する方法をとると。
0:12:58	ということで考えてございます。
0:13:00	水理模型実験の特徴としましては、実現象を模擬でき複雑な3次元構造に対する実際の流況を確認できる一方で、水圧力の計測位置が制限されると。
0:13:13	3次元解析の特徴としましては、
0:13:16	実機スケールで実施できて、複雑な3次元構造に対する流況を再現できると、実験では再現、継続できない地点における水圧力に関しても算定ができると。
0:13:28	いう特徴を踏まえまして実現象を模擬できる生理模型実験、
0:13:34	把握できない損失水等を3次元解析により補完するということで両方実施するということで考えてございまして、最終的に1次元解析と三次元または整理模型実験と比較することで、妥当性を説明すると。
0:13:50	というような位置付けとしています。
0:13:53	検証としましては、定常流及び放水ピット水位が最大となった。
0:14:01	波源の津波は形を模擬した制限は、について解析及び実験を行うと。
0:14:08	ということで下の表にまとめた。
0:14:12	ような目的でまず定常流及び制限は-A検証を行っていくと。
0:14:19	ということで記載してございます。
0:14:22	あと、すみませんちょっと流路縮小工の損失水頭合計値内訳のまとめ資料の呼び込みができてございませんでした申し訳ございません。こちら
0:14:32	通し番号の729ページ参照ということで、
0:14:36	お願いします。
0:14:40	53ページご覧ください。
0:14:43	解析及び実験に用いる流量及び葉系等の条件ということで、定常流につきましては表に記載してございます通り、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:55	流量、原子炉補機冷却海水ポンプ流量を想定した2立米/secと、津波流入時流量を想定した10立米/sec
0:15:06	の2ケースんで流向については順流逆流、×2の全4ケースを想定して、
0:15:14	基本ケースとしてございます。
0:15:17	制限はのは形と周期及び振幅につきましては、
0:15:22	入力版については、1次元解析結果で放水ピット水位が最大となった波源Dの南防波堤損傷を考慮選定しまして、
0:15:33	その派遣をもち球制限は、入力はどうします。
0:15:38	それでその葉系については
0:15:43	流路縮小工を通過した際の生挙動を確認するため。流路縮小工下端の-1メートル以上対象としまして、周期は第2は、第4は、
0:15:55	もう脳波計を読み取りまして300秒及びセンミヨウに設定してございます。
0:16:01	振幅につきましては周期を選定したは形が概ね-5メートルか10メートルとなってるので、片振幅7.5メートルとしてございます。
0:16:12	54ページご覧ください。
0:16:15	3次元解析の概要及び条件ということで3次元解析につきましては先ほどご説明しました基本ケースと同じケース。
0:16:24	左したの図にあるような解析モデル。
0:16:30	を用いまして定常流制限はそれぞれ流量を入力して、
0:16:36	検証を行います。
0:16:39	55ページをご覧ください。
0:16:43	水理模型実験の方につきましては、
0:16:46	イメージ図につきましては左下真ん中のところに示した通りでございませけれども、
0:16:55	ポンプ及び流量計を用いて流量の制御を行いまして、定常流を生じさせるか、
0:17:02	状態で水位を計測してその水頭を算出する、定常流の実験と、あと制限派の実験については放水炉に水槽を接続しまして同水槽内のチャンバーを
0:17:15	上下させることで、水位変動を与えて、
0:17:18	放水ピット内の水位を計測すると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:21	そういったことを予定しています。条件としまして生理模型実験はフルードの相似則を適用しまして、
0:17:29	縮尺 50 分の 1 とすると。
0:17:32	衛藤。
0:17:33	実施ケースにつきましては基本ケースに加えて、
0:17:38	流量のばらつきだったり、制限はであれば周期や片振幅のばらつきを考慮しまして右下の黄色、
0:17:47	新アノハッチングしたところも追加検討ケースとして、実験を行う予定としてございます。
0:17:55	56 ページご覧ください。
0:17:59	3 次元解析と実験、これら、
0:18:03	条件を 1 させたもので 1 次元解析を行いましてそれと比較を行うと予定をしてございます。
0:18:12	なのでモデル図につきましては下の図のような形と、
0:18:18	へえ。
0:18:19	してございます。
0:18:22	57 ページはこれまでのまとめを整理したものになります。
0:18:30	58 ページからは損失係数設定の妥当性についてご説明をしてございます。
0:18:37	ここ、
0:18:39	1 号及び 2 号炉主水路、流路縮小工と、あと 1 号及び 2 号並びに 3 号炉取水施設。
0:18:48	の鉛直開口部、中間スラブ及び天端開口部、これらにつきまして、
0:18:54	1 次元解析モデルで設定している、
0:18:59	設定ガムの適用性、妥当性を説明するといった内容となっております。
0:19:05	1 号及び 2 号炉主水路、流路縮小工につきましては、ちょっと水理模型実験等によって確認すると。
0:19:13	いうことを予定しておりますがこちらについては今後説明させていただきます。
0:19:19	取水ピット内部の中間スラブ及び天端開口部の損失水等については、
0:19:28	既往文献の確認により妥当性を確認したと、いうようにまとめてございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:36	60 ページご覧ください。
0:19:41	60 ページの方ではちゅ取水ピット中間スラブ及び天端開口部の損失係数の確認ということでその検討結果としましては、
0:19:51	鉛直方向の狭窄部に自由水面を有する水流がそう生じる構造物の損失係数に関する既往文献の確認を行いましたと。
0:20:02	河崎他において実験により求まる損失係数等、
0:20:07	今泊で適用してる電力土木技術協会より算定した給食嗅覚算出ケースを比較して、
0:20:15	電力土木技術協会を用いたアノ急縮嗅覚損失係数の方が小さい値となったことを確認しております。
0:20:24	従いまして
0:20:27	急縮、嗅覚損失が小さいということ、小さい場合は、ピットのS Eがより上昇すると考えられますので、
0:20:36	保守的な設定であると考えられるという、いうことでまとめてございます。
0:20:41	61 ページ 62 ページにつきましてはその抜軽微デンスとなっております。
0:20:50	2 章の入力津波の評価条件につきましては、大きく変更はございませんけれども、67 ページご覧ください。
0:21:01	影響要因の検討としまして、③番の地殻変動になんですけれども、
0:21:08	津波波源となる断層変位と基準地震動の震源となる敷地周辺活断層変位に加えまして、今回北海道南西沖地震及び東北地方太平洋沖地震による余効変動、
0:21:23	による変位というのを考慮してございます。
0:21:27	文献等を確認しまして、隆起量を0.12メートル、加算するというのがまず適切と考えてございまして、
0:21:37	それで見直して隆起量につきましては1.15メートルの方を考慮すると。
0:21:43	ということで、地殻変動の条件を見直してございます。
0:21:50	続きまして、
0:21:54	76 ページから、
0:21:57	78 ページでございますけれども、
0:22:01	入力津波の評価条件の例として示してございますけれども、
0:22:07	結果については今各波源の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:13	健全健全地形の会付着ありスクリーン状態、健全状態の結果について出てきてございますので、そちらの推移を追加してございます。
0:22:29	時刻歴は形とか詳細につきましては添付資料5の方にまとめてございます。
0:22:37	ということで以上となりますけれども、修正箇所、
0:22:42	本を中心にご説明させていただきました。以上です。
0:22:47	規制庁フジワラでそれでは質疑に入りたいと思いついてまずパワポの入力津波の設定に関わる項目からじゃあ進みたいと思いついてます。
0:23:02	規制庁熊谷です。
0:23:04	では資料1-1のところのですね、
0:23:08	ちょっと2ページでちょっと確認ですけども、今回ご説明されたような
0:23:14	赤枠と緑枠で示されてるところっていうことでよろしいですかね。例えば、添付4については、これは資料構成として追加されたことで今回の指導、説明内容ではないということではよろしいですか。
0:23:28	北海道電力の吉井です。指摘事項回答としては添付資料4は含まれてございませんけれども、
0:23:35	まとめ資料として、入力津波の説明として追加してございますので、資料1-2の方に載せてございます。
0:23:44	以上です。
0:23:46	規制庁細かいですと、
0:23:48	ここ。
0:23:49	本日の説明事項の位置付けの中では、
0:23:53	対象になってるんですか。なってないんですか。
0:24:01	北海道電力の吉江です。すいません資料1-1の指摘事項回答としては、
0:24:10	この
0:24:12	赤枠で困ったところを対象にご説明させていただいてございまして、
0:24:18	ちょっと添付資料4につきましてはちょっとパワーポイントの方には載せてない状況でございますけれども、
0:24:27	資料1-2の方の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:30	通し番号で言うと、673 ページから、
0:24:37	内容が記載し、基金内容を記載していると。
0:24:42	ということで入力津波の説明としては必要と認識しているんですけども、
0:24:50	ちょっと指摘事項回答としましては
0:24:54	反映していないといった状況でございます。
0:24:58	以上です。
0:25:02	規制庁熊谷です。
0:25:04	どの、
0:25:05	添付資料 4 については、
0:25:07	結構今回通知の内容もあって、すべてが、
0:25:11	説明終わられてるわけじゃないんだろうなと思うんですけども、
0:25:17	今回資料 1-1 見ると、
0:25:21	枠囲みもされてないので、
0:25:24	今回の説明、
0:25:26	事故、
0:25:27	の中には入ってないのかなと思うんですがもしそのコウも説明し、
0:25:32	されたいんだってということであれば、ちゃんと枠囲みをしていただくなりしてですね、わかりやすくしていただいた方が、
0:25:38	ないとちょっと何を説明されてるのかちょっとわかりづらいので、その整理だけはしっかりしていただければと。
0:25:47	北海道電力の吉井ですご指摘を踏まえましてちょっと添付資料 4 の扱いについてはもう一度検討しまして、必要に応じて資料適正化したいと考えます。以上です。
0:26:01	はい。規制庁熊谷です。はい。ちょっとそこについてはきちんと整理をしていただければと思います。
0:26:08	あと、
0:26:10	もうほとんど、
0:26:12	審査会合としての来資料の記載のところですけども、
0:26:15	5 ページ。
0:26:17	4 ページのところ
0:26:18	貯留堰を下回る時間の定義を今回整理していただいて、文言整理していただいたんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:25	5 ページのところとか見るとですね、また保守性を考慮した時間と かっていう記載も、
0:26:30	いくつか残ってたりするので、
0:26:32	審査会合の資料として、
0:26:36	混乱しないようにですね、そこら辺は資料全体をもう一度見直し いただいて、
0:26:40	整理していただければと思いますがいかがでしょうか。
0:26:45	北海道電力のCS大変申し訳ございません。ちょっと保守性を考 慮した時間というような記載が残ってございますけれども、
0:26:55	そちらも貯留堰を下回る時間というふうに記載を統一いたしま す。以上です。
0:27:02	規制庁熊谷です。はい。そこについては整理をお願いいたしま す。
0:27:08	あと続いて、この21 ページのところですけども、
0:27:13	ここで
0:27:15	審査のフォローについてですね整理していただいて、
0:27:17	地形変化①②っていうのを、
0:27:20	整理していただいているんですか。
0:27:22	ここ。
0:27:23	このフローってのは、一番最初の、
0:27:26	ところにいろんな地形変化のやつを一式いっぺん入れてしまっ てそれを全部流していくようなイメージなんだそれとも何か、
0:27:33	知見下の、
0:27:36	例えばその、
0:27:37	一つ一つを何か、
0:27:39	一つ一つ流していくようなイメージになってるのか。
0:27:43	そこら辺はどういうふうに用いてるんでしたっけ。
0:27:46	ええ。
0:27:47	北海道電力の吉江です。基本的には一つ一つ流していくんですけ れども、
0:27:55	流した結果、地形変化位置にオリタものと、dす。さらに別の地 形変化を流して地形変化に2、流れたものそれらについては組み合 わせを考慮して、
0:28:07	この遡上解析を実施するというような流れとしてございます。
0:28:12	なので基本的には一つ一つ流していくというような、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:16	ふうにとらえていただければと思います。以上です。
0:28:24	慶長クマガイです。
0:28:26	そんな一つ一つ流したときにですね、何か地形変化、その①②の ところの、
0:28:32	整理のところがですね、
0:28:38	ちょっとわかりづらいのかなと思う。
0:28:41	思ったんですけど。
0:28:43	だから、
0:28:45	例えば、
0:28:46	定量的評価の知見か①のところですね。
0:28:52	イエスノーとなって、
0:28:56	それでもいいのか。
0:28:59	でもそれはいいんですよそれぞれやって資金が①②を整理して いくということですかね。
0:29:10	北海道電力の吉井です。
0:29:14	一つの地形変化を流したときに最終的な結論が出るフローにはな ってないんですけども別の地形変化を流したときに、
0:29:24	地形変化2として抽出されるということがありえまして、
0:29:30	最終的には全部の地形変化を流したところで、入力津波の設定の 影響要因として設定するものかしないものかというのが、
0:29:41	判断できると、そういったフローになってございます。
0:29:45	以上です。
0:29:48	規制庁クマガイ。
0:29:50	そうですね全全部入れてみると、最後結果としては、
0:29:54	分類されて整理が行くってイメージですよ。
0:30:00	はい、電力の吉井です。その認識でございます。はい。
0:30:04	ありがとうございます。
0:30:09	当期
0:30:18	規制庁フジイですけど私もこのフローなんかすごいわかりにくく てですね、
0:30:24	多分ですね私の中の、これ私の中のあくまでイメージですよ。
0:30:29	地球変化と1、
0:30:31	まず、たくさんあるものから、地形変化1を抽出するという、ま ず目的があると、あと地形変換日程の抽出するという目的があっ て、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:44	だから一般多分そこで終わっ終わって終わってるかフローとして何か一旦そこでストップした上で、そのあとにじゃあ、1に加えて2がある場合は、その遡上解析を実施するような、何かそんなイメージをちょっと持ってるんすね。
0:30:57	なんかだから、これが何か、全体の母集団の中からいて何を求めるフローなのか。
0:31:06	そのアンダーその母集団から抽出されたやつを、今度影響要因として、どういうふうに考えていくのか、そこがちょっとやや、一緒くたになっているとわかりにくい。
0:31:17	もしかしたら分割とか行かないと何か、
0:31:21	多少はわかりやすくなる気もしますが、
0:31:27	北海道電力の吉江です。ちょっとご指摘を踏まえまして、ちょっとフローを分割するとか、わかりやすいようなフローになるように、ちょっと記載を見直したいと思います。以上です。
0:31:45	はい。規制庁熊谷です。ございます。
0:31:49	はい。
0:31:50	で、
0:31:53	あとこのフローの中で、
0:31:58	二重括弧して定性的評価で(2)で定量的評価っていったそれぞれ、
0:32:04	評価されてると思うんですけども、
0:32:09	22ページのところで、地すべり地形②のところについては今回、
0:32:14	定性的評価ということで、
0:32:17	影響要因としては考慮してないと。
0:32:19	いう評価になっていて、定性的評価のところ、
0:32:23	NOになってるんですけども、
0:32:27	これ
0:32:30	影響としましては、
0:32:32	地形指示すべき0については、
0:32:36	基準地震動により、
0:32:38	崩壊しないためってというような、
0:32:40	理由になっていて、
0:32:42	それっていうのは、まとめ資料を見てもす。
0:32:46	まだ、
0:32:47	今後説明されるということに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:49	なるかと思うんですけど。
0:32:53	それでよろしいですね。
0:32:55	関係と。
0:32:57	北海道電力のよろしです。そうです地すべり地形につきましてはちょっと今後基準地震動により崩壊しないというような根拠をお示しする予定でございます。以上です。
0:33:12	規制庁熊谷です。規制庁の江崎ですけど、そこでちゃんと説明しないといけなくて、口頭であったとしても、
0:33:18	それは何。
0:33:20	滑り安定性を計算して、
0:33:22	それとも、
0:33:23	そうん。
0:33:25	斜面の、いや、地質、また傾斜とかそういったものをフクイ呉いろんなその定性的な評価で、
0:33:32	判断するかとかその辺ちょっと説明しないと、
0:33:36	その見通しがわかんないとき、さっきいけないじゃん。
0:33:40	後から計算しますという話。
0:33:42	もう、前提ありきで話すはもう時間でも、時間軸としてそういう時期ではないので、
0:33:49	不
0:33:50	エビデンスを示せということではないんだけど、どういった観点で滑らないって言うてるのかってのちゃんと説明しないと、北海道電力の室田ですと地すべり地形についてですね等価線形解析で S_s を入力して滑り安全率出して滑らないと。
0:34:06	というような定量的評価を今行うことで考えてます。
0:34:57	合同電力の室田でございますまず、22 ページの記載についてはですね、もう評価が終了、終わっているかのように読めますのでちょっと訂正いたします。
0:35:07	それと地すべり地形 2 のですね、今後評価、解析で、
0:35:13	結果を示していくんですけどもどう見通しを示せるかどうかについてはちょっと一旦、持ち帰って、
0:35:19	考えさせていただきたいと思っております以上です。
0:36:21	事業所内で今資料確認中です。
0:37:17	規制庁の江崎ですそ、そのその斜面っていうのは、
0:37:21	アクセスルートとか、そういった斜面と一緒にですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:27	だから他の、
0:37:29	例えば、
0:37:30	四条者の周辺斜面、
0:37:33	とは関係ないですよね。
0:37:36	当然ね。
0:37:37	だから、どこかの条文とリンクしててまだそれは公にできないって話でもないと思うんですよ。
0:37:46	北海道銀行清野です。なのでぎゅソース結果ってのは、
0:37:51	結果で出したい。
0:37:55	5条。
0:37:56	津波の中に、の、例えば、
0:37:59	まとめ資料とか、そういったところにいて添付されてそれでそそれを用いて説明するような説明になるんですよ今後予定としては違うんですか。
0:38:09	北海道電力の室田でございます。今地すべり地形のA断面の斜面の解析については他の条文で出てきてない断面だったかと思えますので工場での説明になるということ考えてます。わかりました。ただお金逆に言うと、
0:38:25	あまり制約はないんじゃないかなと思っていて、
0:38:27	ということですよ。
0:38:29	けども
0:38:31	正式な計算としてはまだ、
0:38:33	これは間に合っていないというふうに理解しましたので、
0:38:36	それであるならばどの程度の、
0:38:40	要は、
0:38:41	多少の後そ審査の中で、条件等が変わっても、大きく変わらない。
0:38:48	安全率ってありますよね。極端に言うと、地盤物性値とか、多少、
0:38:53	変わったとしても、
0:38:54	そうか、保守的にね、し、保守的な検討をするように指摘があったとしても、借り入れない程度の安全率って考えてもいいですか。
0:39:38	北海道電力の室田でございます。衛藤。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:41	社内ではですね検討してますのでどの程度の安全率になっていたかっていうのは、ちょっと確認させていただきます。どのような見通しを説明できるかについてはまた改めて、
0:39:52	検討させていただきたいと思います以上です。
0:40:14	規制庁熊谷です。
0:40:16	で、今ご説明いただいた内容ってというのは、
0:40:19	何か、
0:40:20	定性的評価としての整理なのか、定量的評価としても、
0:40:24	ご説明されようとされてるのかってのは、
0:40:27	ちょっと、
0:40:28	今聞いている内容だと何か定量的に評価をされるような、
0:40:33	お話ではあるんだけど、定性的に評価として今回は考慮しないっていうふうな、
0:40:38	記載ぶりになって説明ぶりになっていて、
0:40:41	どういうふうな整理をされてるのかってのがちょっとはっきりしませんので、そこら辺もきちんと整理していただければと思い
0:40:51	今、は北海道電力の室田でございます今定性的地すべり地形については定性的評価に分類されてますけども結果としては、数値を出して、定量的な評価を行いますのでちょっと区分についてはまた、
0:41:06	考えさせていただきます。以上です。
0:41:11	はい。
0:41:12	規制庁熊谷です。私からは以上でございます。
0:41:35	規制庁藤原です。
0:41:38	イシダがちょっとイマイないのでイシダの、その内容について私の方から簡単にお話しさせていただきますと。
0:41:45	パワポ、21 ページを見ていただいてこのフローってというのが、
0:41:50	なんすかね。
0:41:53	結局高さとか、
0:41:54	上昇側、水位上昇後水位下降、この時間ですけど高さ、
0:42:01	ただ流速とかいろいろやってるわけですよ。エア等、実際この入力津波ってというのは施設の評価に用いるものであって、審査ガイド等ではその施設の評価ってのは波力とか、
0:42:13	パーツ線区とか冬とかいろいろあるわけなんですね。で、
0:42:17	それが今水位だけを使っておるんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:22	前々からこれずっと多分イシダ繰り返し言ってると思うんですけど、
0:42:26	今回のやつってどういうふうに考えているんでしょうかそういった水伊田以外のもの。
0:42:32	75 ページかな。開いていただくとですね、
0:42:41	75 ページの、その左下の、
0:42:45	※4 かな。
0:42:49	これ、ニシダ多分 2、3 回ほど行ってますよね。水位とか流速に加えて保守性を考慮した時刻歴を使うというふうにあって、これって一体どういうふうに考えているの。
0:43:01	ていうのはなかなかちょっと、
0:43:02	見えません。
0:43:04	で、前回のヒアリング、津波波力の時もお話させていただきました。
0:43:09	その時に出したコメント、話がまだ、この資料には反映できてないのかなとはちょっと思いますけども、
0:43:17	この現状をきちんと今後、説明はいただかないと、なかなか本入力津波が決まら
0:43:22	ないのかなというのがあるって、それが 1 点で、
0:43:25	現時点でこれ、何か、
0:43:27	回答できる言いますかねこれどう考えてるかって、儘田川口新の考え中呉というふうにまだ、
0:43:34	一応資料上はですねちゃんとしとかなないといけないと思うんですね。
0:43:37	この点どうですかね。
0:43:48	北海道電力の吉井です。この 21 ページのフローの対象っていうのは、これちょっと津波高さ等、等って書いてるんですけどその等に、その流速、
0:44:00	等と、流況も含めたそういったものでありまして、ちょっと水位だけではなくて流速流況をそのあたりも含めたフローと、
0:44:12	位置付けております。なんですけれどもちょっと波力くうの入力津波の設定とかちょっとそこまで想定したのではなくて、
0:44:23	ちょっと時刻歴は系の扱いとかそういったところはまた今後検討したいと考えてございます。
0:44:31	以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:49	Aで75ページの米印4の津波荷重の評価においては水流速に加え保守性を考慮した時刻歴破棄を選定すると。
0:45:00	ということでも、
0:45:01	ここにつきましてはちょっと比木さいいとして、詳細は
0:45:08	波力の添付資料の方で説明するという位置付けで考えてございます。
0:45:26	なのでちょっとその位置付けとしてはそうなんですけれども、具体的なところとしてはちょっと、もう少し検討して、今後お示しするという事で考えてございます。
0:45:38	はい、以上で須藤規制庁します。
0:45:40	検討中ということなんですけれども、この例えば、防潮て前面の68ページかな、ここで今は減と町が影響要因というのがあるんですけど、
0:45:53	要は今これ高さの観点で持ってきてるわけですよ。流速の観点は何かまた別途、これ漂流物の衝突荷重という観点で、流速は多分使うんだと思って、
0:46:05	波力はどうなるんですかっていうのが、今の何か流れからは、ちょっとごめんなさい見えてこないですねそもそも波力っていう観点でどういうのが、
0:46:16	影響要因として、あるのか、そもそも波力をどういうふうを設定するのか元んだと思うんですけどね。
0:46:23	だから前回の波力のヒアリングにおいては、防潮て前面位置でのまず流速がどうなのかとか、じゃあその流速っていうのは、今の流速ってあれですよ防波堤先端でやってるんですよ。
0:46:35	だからそれをそのまま使うのかそれとも何かちょっと割り増しして使うのかとかさ、さっぱりちょっとわかんない。
0:46:41	要は
0:46:42	完結しないというちょっと実は印象を持ってですね施設の評価に用いるアノニヅツツミとしてはっていうことですけど、一応それだけはちょっと頭に
0:46:50	入れといてもらっていいですか様は、まだちょっとこれは中途半端な状態だというふうな認識なんですよ。
0:46:56	一応その認識でいいですかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:01	北海道電力の吉井です。ご指摘の通り今ちょっと波力の位置付けにつきましては本資料中に明確になってございませんので、ちょっとそちら。
0:47:11	波力につきましても検討を進めて資料に反映していきたいと考えてございます。以上です。はい。ちなみにこれは2月、
0:47:22	1月の末ぐらいに審査会合を予定されているということですけども、波力に関する整理っていうのはそれまでにされるものが今日一応、1回目だったかな。
0:47:34	一緒に行って、
0:47:35	運営と、
0:47:36	次回、
0:47:38	説明ができるってことですか、それとも、
0:47:40	要は1月末では築地として、また今後説明するつもり、まだそこもまだ未定。
0:47:47	どんな感じですかね。
0:48:12	規制庁目崎です。ちょっと口挟みますけど、僕はね複雑だから、
0:48:19	入力サービスはこの高さ、
0:48:22	は一つのフローで作って、
0:48:25	総目的に応じて、
0:48:28	ソースも損傷モードと。
0:48:30	関係して設計荷重としての荷重因子を抽出してチャンピオンを選ぶって話だよな。
0:48:37	今、IV、
0:48:39	ある意味
0:48:40	津波の高さという部分に選んでいて、さっきフジワラ言ったように、その後、
0:48:46	充足っていう観点を今選び切っているんだよね。今、
0:48:50	うん。
0:48:53	悠空に関しても御説明が、今日あるんだっけ。
0:49:00	影響状況あるか前回か。
0:49:02	そこでも基本的にさ、基準津波の網羅性代表性ってないって言われてるので、それぞれに、
0:49:10	フローチャートをまず作ってみて、
0:49:13	それでどこまでの共通性があるってっていう話で一つのフローⅡまとめられるのか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:20	もしくは個別で表示、
0:49:23	それぞれ作った方がいいのか。
0:49:25	例えば、
0:49:27	最初の
0:49:29	なんていうんでしょう、地形変化とかそういったものはあると共通する部分もかなり高いのかなと思っていて、
0:49:36	そういったところから枝分かれして、その荷重因子持っていく話になるのか。
0:49:43	ただ1個あれではなくて、複数あってもおかしくないんじゃないかなと思うんですけど。
0:49:48	どうですか。ちょっと前回やらなかったんですけど、ほぼちょっと言いかけた話ありましたけど沖合防波堤、南側北側防波堤、
0:49:58	アノ実験のね、話にしちゃって、
0:50:02	みんなそうですよね。やっぱり基準津波として何を代表性として、
0:50:07	網羅性代表性、保守性というのは、
0:50:11	流速いろんな観点で、
0:50:13	という話ありましたよね。
0:50:14	それぞれで、流速は一緒なんですかと同じ流速だったらいいんだけど、そういう足で動きしてるわけじゃないんじゃないかと思うんだけど。
0:50:23	もうその流速の項目はないですよという話もいろいろね、波力でもあったと思うんだけど、
0:50:29	そういったものを含めていったときに、どのような、それぞれ、
0:50:33	その設計する対象。
0:50:35	設計する、
0:50:36	対象ってのは一つの荷重ですよ、荷重因子ごとにどういうフローチャートなるかも一度、
0:50:42	考えていただいて、それが一つのオオモトでまとめ上げられるのか、個別にある程度なるのかどうか、じゃなければどこかで枝分かれして、なるのか、それが最終的にどうふ
0:50:55	ご入力スタディの中でフィードバックされるのか。
0:50:58	ということだと思うけどフィードバックは必要になってくると思うんで、そうすると

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:03	もしかしたらその部分は間に合わないって話になるかもしれないけどその間に合わない部分の、その一部のそのふうかちゅう因子に対して説明するという。
0:51:14	介護になるとか、
0:51:16	その辺はちょっと整理していただいてですね、
0:51:20	また、今答えられるんだったら答えていただいてもいいんですけど、今、いきなり急激に言った話なんで、そちらも頭の中の整理はできないのかなと思ってんですが、いかがですか。
0:51:36	北海道電力の吉井です。
0:51:40	承知いたしました。ちょっと21ページのフローっていうのは、確かに水の観点と、ちょっと漂流物を想定した流速とかには適用できるとは考えてはいるんですけども、
0:51:52	すべての評価因子に対応できるというところまで、
0:51:57	確認しまして、必要に応じて複数のフローに分ける等、検討しまして資料の適正化を図りたいと考えてございます。以上です。
0:52:08	北海道電力の高橋です。波力につきましては前回のヒアリング事実確認の時にもですねフローを含めてですね、代表性網羅性、ご指摘いただいておりますので、
0:52:21	それについて整理をしようと思っておりますので、そういったことも含めてですね、やっていきたいと思い
0:52:29	規制庁です。1個だけ質問させてもらっていいですか事実確認ということで、
0:52:34	説明はまだこれからなんですけど、
0:52:39	南側北側防波堤とか、そういうローカルな、
0:52:43	思って、
0:52:44	ここで基準津波で得られた
0:52:47	流速、
0:52:48	箱、
0:52:49	というのは、
0:52:51	使われる予定ですか、それともローカルな場所のものはローカルなところで設定するのか、例えば、
0:52:58	燃料輸送線の退避だとか、いろいろあるじゃないですか。
0:53:01	その考え方って、
0:53:03	ちょっと整理しておかないと、それでいいんだっていう、
0:53:07	審査をしとかないとまずくないそっち。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:09	いや、とどのつまりね。
0:53:11	ここは、
0:53:12	あらゆるフナノ、全部で10、18ケース、さらには、木崎があるんですか。
0:53:18	そういうような印象中で、えって、他方で、
0:53:22	今までのサイトウ鳥栖サンパしなくて、1個はあれですね（ア）んそっちもようはコガですけど、加古川引き、いわゆる引き津波ですよ。引き側の方の話が問題になってるっていう話なんだけど、
0:53:35	これだけカツラオオイワないし、大体が一つの入力津波性の高さを設定するのに、かなり影響が大きいので、片方の方は速度は速いけど、
0:53:47	入力津波が遡上するかしないか大したことはないという話であったりしているので、
0:53:53	割と、
0:53:54	一般に対して、我々を重点的に、
0:53:59	審査すればよくて、
0:54:00	今回はその14ケースでなきゃいけないわけですね。
0:54:04	18ケースあるうちのね、上昇が上昇側で一応リスクの高い14は、そうなると、それをどれだけ絞っていくのか。
0:54:12	ていうと、
0:54:15	簡単に言うとこれだけ大きいたくさん数があるものであれば、
0:54:18	答えはこれか、答えは一つという、いう形で簡単にまとめてあげ、いかに保守性のある津波の高さ、
0:54:27	流速、それらを
0:54:29	敷地のどこであったとしてもそれを当てはめるとかいう話であれば、すごく話し合っ、
0:54:34	うん、論理的に難しく、強い単調なんで簡単なんで、わかりやすいんですけど、そうじゃなくて、まだここにかなり詳細な麻生、
0:54:46	果樹因子を、
0:54:48	与えて評価していくという、審査して評価していくっていうことであれば、それらのある程度、こんな内容に、今後そういうものが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:58	この入力津波の高さを決まった後でまたそういうものが出てくるとなると、またそれからかなり混乱招く話になると思うんで、そこはやっぱり北海道電力としてですね、
0:55:09	どうすべきか、整理いただいた方がいいと思うんですよろしいでしょうか。
0:55:17	北海道電力の高橋です。今、ご指摘いただいた通りですね泊は、の基準津波、18%と大まかコガ含めてですけどありまして、
0:55:29	いろいろ非常に複雑であると。そういった意味で、流速、漂流物の流速、それから燃料輸送線の表、流速、この辺整理したいと思いますけれども、
0:55:39	基本的に船とかそういったものを、どこからこう流れてくるかわかんないっていうものに関しては、やはり最大を見ていかなきゃいけないっていうふうになると思うんですけれども、
0:55:51	燃料という総戦略場所が限定されたりっていうようなようなところは、その範囲の中で、井清を見込んでやっていくと、そういった整理をしていきたいと思えますんで、
0:56:02	今、まだ整理中でございますので、今後とも、そういうふうを考えてますので、整理してご説明。
0:56:11	させていただきたいと思い
0:57:20	はい。規制庁藤間です。この21ページの話っていうのが今言った話を踏まえて要は評価の対象ごとに例えば流速だったら要は、衝突荷重、
0:57:35	またかさあ、
0:57:36	タダ張り食うについてはそういったリスクに加えて時刻歴や形とか、そういうのも、
0:57:42	にあたります場所もそうですよね。ですからそれはちょっとまだ、どういうふうな分岐をするかとかいうのを、
0:57:47	そういったのをちょっとまた今後、整理をしていただくようお願いいたします。はい。
0:58:06	なるほど。
0:58:15	規制庁の石田です。ちょっと確認ですけども、言えとですね。
0:58:22	16ページのところにですね、
0:58:28	16ページの右下のところに、ここでは、
0:58:33	基準津波策定の対象領域とか、いろんな評価条件が記載されているんですが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:42	この
0:58:43	これを踏まえてですね、これに対応するその入力津波の評価条件というのがどういうふうになっているか、つまりこの
0:58:52	右下の一覧に相当するようなもの、入力津波の評価においてどういうふうになってるかっていうのを、
0:59:00	説明いただきたいんですけども。
0:59:07	具体的にちょっとこれは、64 ページ以降とかの話になるのかもしれませんが、
0:59:16	入力津波の検討フローっていうような、最初の条件設定のところの話かとは思ってるんですが、
0:59:28	北海道電力の吉井です。16 ページの右下の表で、領域設定とか計算格子間隔とかその辺りは、特に
0:59:42	この説明と変更はございませんが、
0:59:46	ちょっと計算潮位とか、
0:59:49	もうその設定で解析結果から、朔望平均満潮位とかそういったものを考慮して入力津波を定めてございますので、そういったところろ、
1:00:02	入力津波としてどう設定していくかっていうのを資料上に補足したいと思います。
1:00:08	以上です。
1:00:10	規制庁の石田です。よろしく願いいたします。
1:00:14	ですねこれ伺った趣旨はですね、ガイドの中でですね、4.5 の設工認審査ガイドですけどもこれの、
1:00:24	4.5 のところでですね、入力津波を荷重選定のところなんですけれども、
1:00:32	ですね。
1:00:36	対象施設の構造形式形状敷地形形状や甲斐海底面の地底地形変化を踏まえて、平面二次元解析モデルによる津波伝播及び遡上解析を行って、これは基準津波のことだというふうに、
1:00:51	書いてあります。で、入力津波を評価する代表的な断面を選定していることを確認するっていう、こういう記述なんです、要は。
1:01:00	この 16 ページの一連のプロセスでもって、
1:01:05	入力津波で評価すべき代表断面というものを選定して、
1:01:11	です。そこから入力津波に関する、断面二次解析、或いは 3 次元とか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:18	ですかねそういうようなものを選定してくださいということを要求しています。なので、基準津波の方はここで一覧整理していただいているので、理解できるんですけど。
1:01:29	そこから入力津波を選定する、策定する。
1:01:35	中で、この
1:01:37	基準津波の条件をですねどういうふうに入力津波の方に引き継いでいってるかっていうところがちょっとこの資料ちょっとからは読めなかったので、
1:01:46	そこをイメージ。
1:01:49	してはいただけないかと考えているんですがいかがでしょうか。
1:01:56	北海道電力の吉江です。ご指摘のその入力津波を、をどのようにごめんなさい基準津波の条件からどのように入力津波に引き継いでいるか。
1:02:08	というところにつきましては、ちょっと現状資料には明記できていない状況ですので、ちょっとガイドの記載等も確認して、
1:02:18	その入力津波で評価するべき断面を選定してというところ。
1:02:24	を踏まえて記載を見直したいと思います。以上です。
1:02:29	はい。よろしくお願いいたします。
1:02:31	ちなみにちょっと今わかれば教えていただきたいんですけど。
1:02:35	基準津波の場合は、5キロ圏ぐらいのところから、格子間隔をいろいろ変えながらですね、沿岸域は持ってってるんですけど、
1:02:45	入力津波ってのは大体どれぐらい、円、ちょうど海岸線からどれぐらい沖合ぐらいまでを、評価対象にされてるんですけど。
1:02:55	でしょうか。
1:03:01	北海道電力の吉田です。平面二次元解析につきましてはも領域が1領域すべてを同じ条件で入力津波解析を実施してございます。
1:03:21	断面の方は、
1:03:26	要は入力津波でも、平面二次元の入力基準津波の中から、入力津波で評価する断面を選定するというプロセスが、
1:03:40	あると思ってるんですけど、そのあと、その断面を切って、入力津波はどれぐらいの範囲で、解析なりをやっていくのかわかっているのは、今ちょっとわかったら教えていただきたいなと思ったんですが。
1:04:02	北海道電力のよろしです。ちょっと現状

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:07	入力下の基準津波も入力津波もうモデル上は一緒に、その入力津波としては各地形変化を考慮して、目2次元解析にその地形変化を反映したモデルで、
1:04:21	実施しているという状況ですので、ちょっと今おっしゃられた、そのナカ断面を選定してそこで、
1:04:31	入力津波の評価を改めて実施しているというような、
1:04:35	ことは、してございません。
1:04:39	ここでちょっとガイドの要求に照らし合わせて、何が適切なのかというのをちょっと改めて再確認して、検討したいと思います。以上です。
1:04:53	規制庁の。
1:04:55	いいです。
1:04:57	いいですか。規制庁の石田です了解いたしました。
1:05:01	要は、
1:05:03	基準津波ミイの方の策定のプロセスと、入力津波の策定のプロセス、どこが、
1:05:09	同じでどこが違うのか。
1:05:11	というようなところを明確にさせていただきたいというのが趣旨です。あとは、そ、そこに関してはガイド上の要件というか要求がありますので、それがどう合致しているかというような、
1:05:24	観点でご説明いただきたいと思います。
1:05:27	よろしいでしょうか。
1:05:31	北海道電力のエンドウイセサノ承知いたしました。入力津波の解析条件がどのようになっているかというのを明記いたしましてちょっとガイドとの整合性を踏まえて、
1:05:42	状況確認した上で、改めて検討したいと思います。以上です。
1:05:47	よろしく願いいたします。
1:05:52	来てないですけど、ちょっと事実確認だけで、これ一も、仙台とか、高浜でもいろいろ出てた話なんだけど、上流側の方で、
1:06:01	いわゆるあれだよ。アオキ。
1:06:03	は元から一応す。埼玉で、
1:06:07	かなりその地域全体を、
1:06:11	基本的にモデル化してんだよね。もう日本列島、
1:06:14	全体にいつまではいかないですよ。
1:06:17	多分他のサイトはみんな粗相で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:20	我々のガイドとか、基準って刻みを作ったら、
1:06:26	どっちかっていうとSHAKEフラッシュという地震動みたいに、
1:06:30	というような解放基盤面まで、基準地震動Ss作るじゃないですか、絶対解放基盤目に、既設を入力して、そのローカルな
1:06:41	地質構造を介して構造物に入力されるっていうような考え方で設計されるんだけど、それと地に類似したような書きぶりになってる。
1:06:52	ていうこととそう基本的にはそういった、多分、
1:06:55	何て種申請書の中の中身がそういうような、
1:06:59	結果、
1:07:00	そういうような、何てのプロセスっていうか手段。
1:07:04	で計算されるだろうというふうに考えてるんだけど、そうすると
1:07:08	さっきお話があったように、どこまでモデル化したらいいのかわたてのはかなり水の場合は難しい話があるので、稼働後進行話だけじゃないので、話はとか、
1:07:19	いろいろありますよねどっかに使ってし、近くのシマダとか、
1:07:23	対岸の大陸にぶつかっては、アシダとか、
1:07:28	カセシバにぶつかってとかいう場所もあるでしょうし、
1:07:31	そういうことを考えるとそこまでできないんで、基本的には皆木呉ん。
1:07:37	波源から、
1:07:41	方法の日本列島全体に近いようなモデル化をした上で、評価してるっていうふうに、
1:07:47	それは基準津波を入力際も、基準津波であったとしても入力津波と同じような、
1:07:52	精度を持った計算をする、モデル化を図っているっていう。
1:07:57	こととして理解してもいいですか。
1:08:12	北海道電力の吉江さん。ご認識の通り入力津波も基準津波と同様のモデル化をしています。
1:08:22	それで考え方はわかったんですけど、その辺はちょっと、
1:08:25	いろんなやり方がバリエーションがあると思うんで、その基準津波決定後に、入力津波主ん求めるための方法論はバリエーションがあると思うんでそこは正確に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:37	どういう考えに基づいて、何をどうしたのかってのはちょっとわかるように、わかりやすく、
1:08:42	説明性の向上を挙げていただけますか。よろしくお願いします。
1:08:49	北海道電力の誘導施設承知いたしましたという考え方に基づいて入力津波のモデルを設定しているかというところを丁寧に説明したいと思います。以上です。
1:09:11	はい。衛藤規制庁フジワラですじゃあ、衛藤。
1:09:15	よろしければ次に行きたいと思います。で、
1:09:18	77 ページをちょっと開いてください。
1:09:24	77 ページ今回なんか管路解析を一部はちょっとできて残りツジなってますというところははいわかりましたけども、
1:09:34	1点ちょっとこれどういうことなのかなということだけちょっと説明いただきたいなと思っているのがですね。
1:09:41	まず、この77ページの、これは12号、
1:09:46	千野近傍らしい。
1:09:49	あれアマヤaと2-ツツミの影響要因の真ん中やや左に3号炉取水口変動量を超えた分12号取水口変動量かな。
1:09:58	ですかね。
1:09:59	うん。言いたいのはですねこのは、ここ野瀬
1:10:03	真ん中やや左の変動量でマックス値が12.74、は原因の現地形ですかね。これは今チャンピオンですよ。
1:10:12	で、私のイメージや、やっぱチャンピオン、この入口でチャンピオンやったらこうなんだろう。
1:10:18	出口出口っていうかね12号取水ピットスクリーンってやっぱ中に、何が一番マックスになるのかなあと思ったところ、
1:10:25	ちょっと何かMACCSしない値が出てですね。
1:10:28	うん。で、
1:10:30	補ツツミ3号炉とか放水とあと取水は、大体一致してたんですよ。こっちの入口のチャンピオンと出口のチャンピオン。
1:10:39	こっちでちょっとチャンピオンが違う。何か出る理由って何か、あれってわかりますかね。
1:10:47	要は何か。うん。
1:10:48	大変いいやつを12.74では原資に比べたら三名。
1:10:52	3メートルぐらい。
1:10:54	こっちが2.5メートルぐらいかな。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:56	でも何か実際結果は何か
1:10:58	それだけの差があるにもかかわらず大分ちょっと、
1:11:01	うん。
1:11:02	でかくなってるこれ市なんかやちょっと意味がわかんなくて、
1:11:05	これどうでしょう、説明もしわかれば。
1:11:16	北海道電力のよろしです。
1:11:19	今現地形の中で、波源の水位変動量がチャンピオンになっていて、一方で、12号首藤取水ピットスクリーン室の、
1:11:32	設定値蒲生波源C。
1:11:35	が、の現地形がチャンピオンになっている状況と。
1:11:38	ということでございますんで、こちらにつきましては、おそらく
1:11:43	入力形でチャンピオンになってる、
1:11:48	ミナミの多分固有値、主集キー等12号スピーチ取水ピットスクリーンスの、固有周期それ、
1:11:59	ちょっと応答が多分変わってきていることが原因ということでも、ちょっとまだ
1:12:08	その辺りの考察が整理できてございませんので、もう少し取りまとめてまたご説明させていただきたいと思います。以上です。
1:12:20	はい、イトウ規制庁フジワラです。
1:12:22	一応ちょっと影響要因としては、今、
1:12:27	何だっけ、コウ会付着とかスクリーンとか設けちゃう意識と実際ここに固有周期なるものが、もう1個あると私は今理解しましたので、
1:12:38	そういう理解でいいですかね。もしかしたらそういう、
1:13:17	衛藤。
1:13:19	そこはちょっときちっとその考察をやった上でその影響要因となる、なってるかどうかってのはもうちょっと内容把握してもらっていいですか。
1:13:29	北海道電力の誘導施設、ちょっとそういった考察、こういう周期による影響とかあるかどうかっていうのを考察した上で、必要に応じて資料の方適正化を図りたいと思います。以上です。
1:13:54	もしかしたら製品は、
1:13:56	ここの辺ともろもろ、流路縮小工とあって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:03	やってるからその影響もあると思うんだけどもまずあれだよ、流路縮小工とかその辺が説明ができてからだと思うんだよ。要はソースケースだとかいろいろ、
1:14:12	出てますよねコメントが。
1:14:17	なんで。
1:14:18	そういう、もうたくさんやらなきゃいけないことたくさんあるから、諸条件が固まっていけないと、なかなか、
1:14:24	多分固まらないで、多分室さんそういうことだよ。
1:14:31	北海道電力の室田です。江藤流路縮小工も、
1:14:35	1年後集水であれば、中に入れて、解析してますんでそれらの影響もありますけども、いずれにしても形状確定しないとそれが正しいかどうかちゅうのもありますんで、
1:14:45	いずれもまず、今回のこの結果を分析させていただきます。以上です。
1:14:53	はい。
1:14:55	ちなみにちょっとセンクツとかいう話、もう今日パワポには書いてあったんですけどちょっとまとめ資料の話はまた後でガッツリやります。あと、
1:15:05	その次流路縮小工の実験とかいう話にちょっと、
1:15:09	持っていこうかなと思うんですけど、その前にちょっと12号の流路縮小工ですかね59ページ。
1:15:15	なんか、ツジっていうふうになってんですけど、
1:15:18	これはあれですか1月の末の審査会合にかける、それともかけない。
1:15:24	どっちですかね。もう。
1:15:26	北海道電力の高橋です。本日間に合わなくて、大変申し訳なかったんですけども2解明に反映させて1大井、1月末に
1:15:38	間に合わせようかなというふうには思っています。
1:15:44	はい規制庁じゃすま一応説明が未項目のものについては、改めて1回2回というのはちゃんと考えていただきたいのと、あと1月中でヒアリングをどういうふうにやりくりしていくかとかいうのはちょっと、
1:15:57	検討するのと、当然3号で出したコメントを、今何か水理実験やるとか言ってんですけどこれからちょっといろいろ質疑の中で出て

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	きたやつはちゃんときちっと反映して、やっていただけると理解 していますので今後今から3号、
1:16:12	放水ピット流路縮小今回して質疑します。
1:16:18	規制庁の江崎です。私からちょっと事実確認を何点かさせてく ださい。
1:16:22	全部まとめて言っちゃっていい。
1:16:26	一つ目がね、52 ページで言っている。
1:16:30	ここはどっちかっていうと
1:16:35	前回の5、
1:16:38	実験等を、
1:16:39	シミュレーションの話でも出てたと思うんだけど、やはり実験と シミュレーションは、どういう目的でどういう効果と役割を、
1:16:47	をねらってと少しは書いてあるんだけど、今ちょっと十分じゃな くて、いわゆる、
1:16:53	どういう思考回路で検討、思考回路でこれをこういったものを使 っていかうかというのが見えなくて、
1:17:01	多分、通常で言えば、これ、米このこの必要性を指摘したのは、 確か内野牛田がコメントした話があって、
1:17:11	ソウノ時言っていたのは確か
1:17:15	まず実験っていうのをまずやってみて、それではそれはあくまで も、
1:17:20	実機を模擬しただけの話のシミュレーションじゃ実験なんで模 擬実験ですよ。
1:17:26	僕実験でそもそも設計には持ち込めないんで、当然
1:17:31	踏む模擬実験を使命とした。
1:17:35	シミュレーション解析が必要で、それが3次元でぐらい。
1:17:39	やってみて、その3次元を実機に置き換えたときに、
1:17:44	ここで言うと次元に置き換えをしてるわけですよ。
1:17:46	1次元とこの比較して実機同士の状態で、
1:17:50	ていうようなねらいがあってやってるんですよ。
1:17:53	多分違いますか。
1:17:54	であればそういった話はちゃんと記載していただいた方がいいです か。違うのであれば、いろんな、
1:17:59	内容が違うのであれば書いてください。
1:18:04	はい。北海道電力の高石です。ただいまの説明、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:11	そうですね。類似しておりますが当初水理模型実験と3次元解析を両方やってですね、合うところは、会う合わないところは、どのように、
1:18:24	衛藤。
1:18:26	違うかってことですねしっかり分析と比較を行って、必要に応じて、合わせていくことも考えながらですね、検討を進めていこうというふうに考えておりました。先日のヒアリングのコメントを踏まえましてですね、
1:18:40	その青な合わない部分も出てくるかと思imasuので、今後必要に応じてですね水理模型実験から3次元解析、3次元解析から1次元解析。
1:18:51	そこで出た1次元解析とですね、現状の1次元解析のですね比較等を行っていくようなこともですね、考えて、
1:19:01	検討を進めていこうかと考えております。以上です。
1:19:05	規制庁の矢崎です。ちょっと続けて、
1:19:08	私もちょっと関連するのでなぜそういうようなことを聞いているかっていうと、まず55ページで見ていただくと、
1:19:14	まず碓井理事、模型実験のイメージ図、
1:19:18	と言っていて、
1:19:20	その方水路、
1:19:22	上向きしてるんだけど、タカダが0.4メートルで50分の1については短い。
1:19:26	遅コウノコウかったらお前も見込んではないんだよね、実験だから、実機と違うよねだから。
1:19:33	実際にはそのケースだって違うわけだよね。
1:19:37	それじゃ、もうここではそう単純に損失の話をしてるだけなんで、こういうモデル化になってると思うんだけど、ただそのままそう思っていけるのか、1次元と二次元の話でね。
1:19:48	その先の話で、複雑な3次元的なね。
1:19:51	ええ。
1:19:54	構造の
1:19:56	複数の3次元的な複雑な構造の流路縮小を使っているんで、
1:20:01	そこっていうのはある程度横切係数が決まったとしてもそれはシミュレーション解析をしてみても、シミュレーション解析ある程度それが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:10	動きできるようなことが条件が設定できたらその設定に基づいて実機でやって、実際にあれですねここでは一応その流速とか、いろんな話が出ているけども、
1:20:22	仮定条件がいろいろあって、
1:20:24	他にも、うん。
1:20:27	うん。53 ページの流速、想定した流速が 10 メーター、
1:20:32	あと、流速じゃなくて、流量かという話になってますよね。こういったものって、結局は、
1:20:39	実験はこれでいいのかもしれないんだけど、
1:20:42	うん説明は要るでしょうけどね。でも、実機に対してそれで妥当なのか。
1:20:47	ていう話もあるだろうし、さっき言った須藤ケースはいろんな全体のモデル化として妥当なのかっていう、
1:20:53	いわゆる一つの物性、物性値を決めたとしても、それが全体のモデル化として妥当なのかとは別の話ですよ。
1:21:00	今でも全体系で考えた時はそれは、
1:21:02	仕事稼ぎも一緒の話で、うん。
1:21:05	うん。基本的にはもう、
1:21:08	理想化してるから、モデル、モデルと特にそれを、
1:21:11	毛利颯花蒲生イシイ県ってのはもうそのさらに簡素化してるわけですね間考え方によってはだから、そこに関してはやっぱりその実験のものをそのまま使うんじゃないで、実験、
1:21:21	使ってもいいんだけど、それを基本的には実機に置き換えて、実際の、
1:21:27	基準津波相当のものを考えて、確認しないと。
1:21:31	一時検討 3 次元で比較なりませんよね。
1:21:35	模型実験との比較ではなくて、
1:21:37	基本的には、模型実験と実機は違うわけだし、
1:21:42	画像は形も我々も違うわけだから、それは一緒にはならないわけだから、そこには何かワンクッション、
1:21:49	必要だと思うんですがいかがですか。
1:21:54	はい。北海道電力の高石です。
1:21:57	あと、おっしゃられた、今おっしゃられた通りですね、まず実験の流路が短いことニイツ、交通量が短いことにつきましては、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:08	実験、3次元解析、1次元解析ともに同じ条件で実施いたしますので、そこで損失係数の比較ですとか、そういうことをする上では問題ないというふうに考えております。
1:22:23	一方でですねそれを最後、1次元解析モデルにですね、どのように持っていくかというのは、実スケールのものに持っていく必要があるかなというふうに考えておりますので、
1:22:35	そこら辺の適用の方法につきましては、今後検討してですね、説明させていただきたいと思います。以上です。ですので、そういった、こういった
1:22:45	手順で、こういった考え方でこういった前提。
1:22:49	目的ですよねっていうのを一番最初に書いていただいて、そうするとそのあとはどういう説明を詳細に説明しようかというのがわかるかと思うので、
1:22:59	説明いただきたいな、そういうふうには、
1:23:02	資料作りを心がけていただきたいなと思いますいかがですか。
1:23:07	はい。北海道電力の高岸です。
1:23:10	今の米
1:23:12	コメントを踏まえまして手順等、考え方を
1:23:17	記載するような資料の適正化を図っていこうと考えております。以上です。
1:23:24	私からは以上です。
1:23:37	はい、規制庁の谷口です。
1:23:39	今関崎の方からも話があった件ですけれども、
1:23:46	基本やっぱり、
1:23:48	C実験の位置付け、まあさ。
1:23:52	理想化したモデルって、装置で実験をするものが、実際の水理実験ですけど、それを、
1:24:02	実際のものに適用するにあたっては、3次元解析のシミュレーション等おって、条件を変えたりとかして、それをどう評価するかっていう考え方が出てきて、
1:24:15	それを最終的に設計に用いるにあたっては、それを理想化するなり、
1:24:21	ホシコ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:22	保守的で考えるかっつって、今、損失がどれぐらいなるかっついうのを1次元のものに入れていくっていう流れだと思うんですね。
1:24:32	そういうことをやっぱり、全体のフロー、これからやっていくものとしての何か、
1:24:39	考え方の流れをやっぱり最初に説明しないと、
1:24:43	一つ一つが、何をやろうとしてるのかっつのがよくわからない。
1:24:49	ほんで、この中で言うと、皿実験のケースも、実際の基本ケース以外に、また追加のケースがいっぱい出てきてる状況の中で、
1:25:00	これだけのケースをやった結果として何を、それで評価しようとしてるかっついうのがやっぱりわからない。傷が増えれば増えるほど出てくる数字がいっぱい出てきて、
1:25:14	その数字をどういうふうに分析していくのかっついうのは当然出てくる話だと思いますので、特にこの辺の追加、どんどんふやす、
1:25:23	実験のケースをふやしていても、
1:25:25	結局その出てくるものをどう分析するかっつ話になると思うので、もう少し、その全体の流れをきっちり
1:25:35	自分たちがやろうとしてるものをちゃんと説明した上で、1次元でどう適用していくのかということ、やっぱりフローとして説明をして、
1:25:47	その上で、この辺の流れを変えていかないと、やった方がいいけども、あれもこれも出てくるし、それは設計で、
1:25:57	要はどう反映していくのかっつのはやっぱり見えないので、設計にあたってはもっと単純化したものが欲しいわけですよ。そういったことも含めて、保守的にどう考えるのか。
1:26:09	次元で、どうすればいいのかっついうことをやっぱり踏まえた上で、実験の計画等、致命傷の計画を立てていかないと、
1:26:19	3次元のシミュレーション解析もこれだけあります。それから、実験もこれだけのケースがありますっていうな形でいっぱい書いてあるんですけど、その辺もう少し、
1:26:30	絞っていかないといけないかなと思いますけどいかがでしょうか。
1:26:34	はい。北海道電力の高石です。今の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:39	コメントとしましては闘争実験、水理模型実験 3次元解析 1次元解析のですね、その位置付けを明確にした上でですね、
1:26:49	それをどのように使用していくかというフローを整理して最後、どのように、解析の妥当モデルとしての妥当性を示すかというのをですね、
1:26:59	しっかり考えてい。
1:27:01	いってそれを資料化していくことというそういったお話だったと理解しております。
1:27:07	資料の適正化を今後図っていきます。またコメントいただきました、追加で実験、
1:27:15	等をですね実施する内容につきましては、おっしゃられた通り、
1:27:21	何でもかんでもやればいいという話でもございませんので、実際の実験ですとか 3次元解析のケースをですね改めて精査いたしまして、
1:27:33	必要なケースについては追加で行いますし、そうで必ずしも必要でないケースにつきましてはですね、減らすなど、そういったことをですね社内で検討して対応していきたいと思えます。以上です。はい。
1:27:46	よろしく願います。最終的には設計にどう用いるのかって話だと思えますので、結局、研究じゃなくて、あとやった結果をどう設計に取り込むかって話だと思えますので、
1:27:58	ぜひその辺をよく見ていただければと思えます。よろしく願います。
1:28:13	皆さん言ったことをそのまま同じようなコメントなんですけど、
1:28:18	基本的にですね 3号放水ピットのショウスイコウの1次元モデルの妥当性について、施設今次の設計で、
1:28:27	業者としてどうしたいのかっていう、
1:28:29	そもそもが見えないんですよ。
1:28:32	そのために、
1:28:35	この課題は何か。
1:28:37	課題として取り上げてるとして例えば 3号放水ピットの流量縮条項これすごい複雑な構造で、
1:28:45	初めてのケースだと思うんです。だからこれの損失水頭とか、そういうところを見ようというまず目的を明確にすべきだと思うんですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:55	その目的に対して、課題は何なのか。
1:28:59	タダ損失水頭だけなのか、他に何かあるのか、空気伝導の話もあるかもしれない。
1:29:05	そしてその中で、
1:29:07	その課題を解決するために、
1:29:11	生理実験とか、3次元をやるって言ってるんだけどそもそも1次元で何でやるのかという答えもわからないわけです。
1:29:20	いや、はっきり言って3次元で全部やればというのも一つの答えで、わからないところだけ、いわゆる水流縮小コウノフクイ。
1:29:29	その複雑な損失システムをソースがわからないところだけ実験でチェックするとかいう方法あるのに、まず1次元で全部やるっていう理屈は簡単だからとか、見やすいからとかそういう何か、
1:29:43	あって設計するとか、そういう基本的な流れをまず明確にしていた後に、
1:29:49	ここの、
1:29:50	妥当性をおアノ言うべきだと思うんで、
1:29:54	皆さん言ってるようにフォローとですね。
1:29:57	設計の方針、そして課題、それを解決するためのフローというのはやっぱりちゃんと整理して欲しいなと思います。
1:30:06	私からは以上ですけどいかがでしょうか。はい。北海道電力の高石です。今、コメントとしましては1次元のまず、どうして3次元複雑なものをですね、1次元でやられて、
1:30:18	こちらでやっているかっていうのをですね、整理した上で、課題を明確にして、複雑な部分については、このように対応してそれを3次元でやるのか、それとも3次元で結果を1次元に、
1:30:32	フィードバックして、それで1次元でまた再解析して妥当性を示していくのかとか、そういった内容かと思います。そこら辺につきましては、それをですね
1:30:42	課題を明確にした上で、フローに反映して、資料の適正化を図っていこうと考えております。以上です。
1:30:58	それじゃ、
1:30:59	引き続き、
1:31:02	ですが、規制庁イシダです。
1:31:05	52ページですけども、ちょっとえっとですね。
1:31:11	全体の目的であるとかですね、こういった課題があるか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:15	それを
1:31:17	全体方針をですねフロー化してまとめてくださいというのは今、
1:31:22	皆さんが指摘された通りです。そこは全く同じなので、
1:31:29	そのこと以外ということではちょっと個別のですね、ゲート少し細かい話をさせていただきます。まず52ページのですね、
1:31:39	ところの、
1:31:41	グラフ
1:31:42	流量と損失水等の関係の運営と図なんですけれども、とですね。
1:31:49	この隠すスーチーの損失水頭、
1:31:55	対象物何を対象にした。
1:31:59	損失水頭なんですかねというのをちょっと伺いたいんですね。
1:32:06	具体的に言うとですね、
1:32:10	右の方に検証の対象範囲ということでいろいろ図があるんですけども、損失水等を評価するのはこの中のどの部位を、
1:32:19	言っておられますか。
1:32:26	はい。北海道電力の高石です。まずここに出てきている、グラフの損失水等につきましては、通し番号729番に、
1:32:37	記載している通り放水路から放水、
1:32:42	はイソダ、
1:32:43	資料1のまとめ資料ですいません、まとめ資料1-2の、
1:32:48	と729番に記載している。
1:32:52	0
1:32:54	表、ページ番号。
1:32:58	729番ですね、すみません、ヒライはお開きください。
1:33:05	すみません。
1:33:07	こっちに今言ってる最中。
1:33:10	はい。大津。はい。
1:33:14	はい。
1:33:15	太文字729番の参考資料2に、
1:33:20	2、
1:33:21	記載しております。
1:33:24	が、場所は放水路から放水ピット内との範囲となっております、その中の流路縮小工の、
1:33:36	形状を考慮した。
1:33:40	抹殺。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:41	を、合計したものをここに記載していると。
1:33:46	いうものとなっております。
1:33:58	700、
1:34:00	あります。すいません。
1:34:04	ああ、これか。
1:34:06	ここですかね。北海道電力高岸です。728 番の図のところに参考図、右下のさ、参考図 4 の、
1:34:24	中に、
1:34:26	記載している、図の番号ごとにですね。
1:34:33	参考表 2 の中で損失係数等、そういったものを、
1:34:38	ザイゼンにしております、その合計値が、
1:34:44	その上の参考図 3 の、
1:34:48	と。
1:34:49	普通のグラフとなっております。
1:34:55	なるほど。はい。
1:34:57	規制庁の石田ですけれども、えっとですね。
1:35:00	ちょっと最低限ですね、対象物というかですね
1:35:05	村社水道が発生する部位としてどこを対象にして、
1:35:10	出した。
1:35:12	数値であるかっていうことはですね、細かいこと各室ありませんので、最低限の
1:35:17	基本条件という意味で書いていただきたいと思います。
1:35:30	ちゃんと、うん。
1:35:38	はい。
1:35:40	確かにまとめ資料の方を見ればということなんだとは思いますがけれども、
1:35:46	一井にはまずこれをパワポの方見ますので、
1:35:49	はい。
1:35:51	それから、これは
1:35:54	このところの全体系を、の入口、インアウトの損失水頭だというふうに理解をいたしました。それで、
1:36:07	えーとですね。
1:36:08	実際にここに出ている数値、
1:36:11	プロットがされてるんですけど、これは、
1:36:14	解析でやられたものなんですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:25	外努力の高石です。ここに出てきてる数字は、解析で実施したものではなく、この理論
1:36:34	Gで、摩擦係数ですとか、断面セキ等から算出した損失水頭となっております。
1:36:44	理論値っていうのがちょっとよくわかりませんでしたということでしょうか。すいません。北海道電力の高石です。損失、今の形状を考慮した断面の、
1:36:55	と損失係数を、
1:37:00	から損失水頭を算出したもの。
1:37:04	です。
1:37:05	以上です。そうすると、
1:37:08	放水ピット流路縮小工云々というところの個別の構造の
1:37:15	その下抵抗、個別に進んでいってそれに流量を与えて、水稻をさ、出してる。
1:37:21	と思えばよろしいですか。
1:37:24	北海道電力の高石です。
1:37:26	藤。
1:37:28	うん。
1:37:34	よう社内で確認いたします。
1:37:47	北海道電力の高石ですと。
1:37:50	資料1-2-1。
1:37:52	黒の番号、太字の番号のところ、697ページ。
1:38:01	あります。
1:38:06	表の4の損失水頭算定公式というのがございます。
1:38:11	ここで算定されたと、損失係数。
1:38:17	を、に基づいて、
1:38:20	実際の放水炉、
1:38:23	ですとか、
1:38:24	放水ピット等の、
1:38:28	形状を考慮した。
1:38:30	上で、
1:38:32	算定されたのが、
1:38:35	資料1-2、まとめ資料1-2の、729ページにございます。
1:38:41	参考表2になってございます。
1:38:45	はい。その流量を、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:48	変えていったものが、
1:38:50	このグラフとなっております。以上です。規制庁の石田です。わかりました。えっとですね、それ、これもですね、今おっしゃった話の最低限の話はこのパートの中にどういう前提で、
1:39:03	算出したものかというのをですね、書いていただきたいんですよね。
1:39:09	でないと、ちょっとですねこれは、
1:39:12	ちょっと誤解を招きやすいので、
1:39:15	はい。
1:39:20	よろしいですかね。
1:39:21	はい。はいカトウ電力のタカハシです承知いたしました。はい。よろしく申し上げます。それで、これは参考までということで伺うんですけども、順流と逆流でもって、抵抗値が、
1:39:33	若干ですけれども変わってくる。この理由ってのはどういうことだと理解すればよろしいでしょうか。はい。北海道電力の高石です。
1:39:42	ルールを、流路縮小工等に関しましては左右上下対称ではございませんので、嗅覚のもともとの面積が、
1:39:52	違う、そこから嗅覚になってくると。
1:39:57	どれだけ絞られるかなどが順流と逆流でですね、異なりますのでそこで係数がやや変わって、それでアノ順流逆流で数値が異なっていると。
1:40:10	というようなことでございます。
1:40:12	規制庁のイシダですわかりました。ありがとうございます。
1:40:21	はい、清町の谷口です。
1:40:24	今、話を聞いて、やっとこの図表の位置付けがよくわかりました。
1:40:30	それで、ここも、
1:40:32	算出するにあたって引用してる資料がいっぱいあるんですね、ここ 697 ページには書いてありますけれども、
1:40:43	このパワーポイントの中に、実際こう引用した文献がいっぱい書いてあるんですけど、それが参考文献としてどこにも書いてないので、基本的に今、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:54	私もずっと見ていったんですけど、2、1章のところの参考文献一切ないので、この辺のやっぱり説明、説明というか、引用文献を説明しておいてください。
1:41:06	それの上で、こういう計算をしたってということだと思しますので、その辺もわかるようにしておいてください。
1:41:13	よろしくお願いします。
1:41:15	北海道電力の高岸です。大変申し訳ございませんでした資料の適正化を図ります。以上です。
1:41:23	お願いします。
1:41:28	規制庁の石田です。53 ページの方でお願いいたします。
1:41:34	ここですね、
1:41:38	て上流の基本ケースということで、流量がふたパターンあります。それで、このふたパターンあるんですけども、例えば2立米の逆流、それから、
1:41:48	10立米の人流ですね。
1:41:51	これ
1:41:54	場面想定といいますかこれをケースの中に入れてある考え方を、
1:42:01	説明ください。
1:42:07	すいませんつまりですね、補機冷は、放水ピットから放水公園の方に流れていくのが本来の流れなわけなので、そこで想定している例えば2立米というものが、
1:42:19	逆流というふうになるのがどうして出てくるのかなっていう話、10立米の方もこれは基本的に、津波が流入してくることを想定してるわけですよ。
1:42:30	それを放出する側にもこのリョウソ設定してるっていうのが、
1:42:35	ちょっとその意味がわからなかったのでお伺いしています。
1:42:39	はい。北海道電力の高石です。
1:42:43	今石田市さんがおっしゃられた通りですね、まず2立米の設定10立米の設定につきましては、補機冷、
1:42:53	補機冷却海水ポンプの流量として、放水ピットから放水コウ側に流れる準備を想定して2立米といたしました。それが今回、この断面で想定される時、最も小さい流量だと思っております。
1:43:09	10立米につきましても、逆流を想定して、津波流入時の流量として、最大値相当のものをですね10立米として設定いたしました。
1:43:19	この流量を設定した上、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:22	この流路を、二つをまず影響を見たいと考えたときに、設定したんですけども、その、その流量で、どのように、の流行によってどのような影響があるかっていうのを、
1:43:34	考えるために、実際は
1:43:38	起こる可能性ってのはほぼないかと考えているんですけども、逆流ですとか準備を反対向きの方向を入力したというふうな考え方でございます。以上です。
1:43:50	規制庁石田です了解いたしました。
1:43:53	できれば、そうであれば、2立米逆流10立米、順流、これは
1:43:59	評価上の参考。
1:44:02	ケースというかですね、そういう位置付けであるっていうふうなことを、自分でも、どっか注記でもいいので、ちょっと書いといていただけると。
1:44:09	これも誤解はないかと思いますがいかがですかね。
1:44:13	はい。北海道電力高石です。承知いたしました。
1:44:19	97.9アノ、津波の第1第2は第3は第4はって結構くるわけでその時になると、津波時の準備は要は
1:44:31	要は、
1:44:34	1回津波が引いた後なんかたまり続けるたまり続けた後にさらにさらにこう水が、第2は或いは第4がくるとか、そういった状況も考えると、
1:44:45	重立米に関するその順逆中そういう事象を想定してるわけではない、ないんですかね。
1:44:54	案も四方向だけ感度解析の主時刻歴は形が、まとめ資料にあると思うんでそこを踏まえて、
1:45:03	説明してもらっていいですか。北海道電力の青木です。53ページの定常0の基本ケースこの表の見方というところで、我々が想定しているところっていうのは、最終的に津波が入ってくるときと、入ってきて引くときも、
1:45:19	イトウ感度解析として想定される事象と考えております。その際に入る流量っていうところは、初期状態だと当然流量、ちょっとポンプの
1:45:30	動きは一旦置いておくと、量としては0になっていてそこから津波が入ってくるときに流量として、その言い方ですと、放水コウから放水ピットの逆流の方向に10入ってく。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:43	引く時にはその中の分が順流っていう方向で抜けていくっていうところで津波時としては0から10まで幅を持って流れがあるものと考えております。一方この表の中でちょっとわかりづらさというか混乱させてしまった原因というところで、
1:45:58	色の網値の大きさをっていうところでポンプの流量を想定した数字であったりとか、津波LNGで大きくなるような流量ってとこで10っていうところを設定したっていうところなのでこのあたり
1:46:10	ノーところで誤解を招いているのかなと思っておりまして、まとめますと、
1:46:15	実際入ってくる津波が起こるときに、ルールって、0から10前後のところまでの幅を持っていると。その中で、2点というところで、小さいものでポンプの流量の数字というところで2というところと、
1:46:29	11という数字を今回記載したと、そういった位置付けになっております。
1:46:34	回答は以上です。
1:47:13	北海道電力の室田です。衛藤。
1:47:16	各ケースのですね扱いとかですね考え方についてはですね、ちょっと改めて整理しましてですね
1:47:23	パワーポイントであったり、まとめ資料に追記させていただきます。
1:47:27	以上です。
1:47:31	規制庁の石田です。
1:47:34	はい。
1:47:36	誤解を生まないようにちょっとご説明いただければありがたいです。よろしくお願いします。
1:47:42	ちょっと続けて、同じ53ページでですね、下の方でですね制限は、のところの設定の話でですね、励んでいい。
1:47:54	に対してですね、ここでは、
1:47:58	黄色と緑でプロットサノされている、茂木はこれは作るんですかね、というふうに読んだんですが、この
1:48:09	ここで二つの波を設定してるんですけど、これ、これが、
1:48:15	持っている再現性であったり保守性っていうものについて、
1:48:21	ご説明いただけますか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:39	事業者内で、資料の各北海道電力のタカハシで事業者内で資料の確認をいたします。
1:50:15	北海道電力の高石です。まず、2羽と4班につきましては、放水ピット流路縮小降雨断面を、案に影響が与えられると考えられる
1:50:27	SEの高いものを選定いたしました。
1:50:31	そして、2ハタ4羽を選定いたしました。その中で、なぜに入らんだかといいますと、流路縮小工、
1:50:42	につきましては水がアノ等、
1:50:46	断面を通過した後にそのあと引いてくことも考えられるので、そこに波の周期が深く関わってくると考えました。
1:50:58	そ、それですすね300と、今の2は4は包絡するように
1:51:07	300周期を300、
1:51:10	アノ線を選定したというのが、まず、200トンほど選定した理由となります。
1:51:16	その上で、この
1:51:19	につきましてはこの中で一番、
1:51:24	キー数値と、
1:51:29	それが周期と江藤振幅を選定した理由となっております。以上です。
1:51:37	規制庁石田です。再編成と、補修性っていう観点でお伺いしたんですけど、それについては、再編成、
1:51:47	については今ご説明いただいたのかな、ちょっと保守性っていう、少なくとも保守性については、ちょっとよくわからなかったんですが、
1:51:55	はい。北海道電力の高石です。保守性につきましては今選定した入力の中で一番高い波を、
1:52:05	として選定しておりますので、一番流路縮小工、
1:52:12	にとって、水位が上がる。
1:52:16	つまり、
1:52:19	麻生で一番上上昇するときの
1:52:23	状況を、はい。
1:52:25	茂木できると考えて、それが保守的だと考えてこのアノ箱を、
1:52:32	選定しております。
1:52:34	また周期につきましては、少し長い方がですすね、1度、流路縮小工の上部に溜まったものがですすね、おり、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:44	抜けていくまで時間かかることもあるので
1:52:49	センミョウということでこの事実は形をですね、少し大きめにとって、センミョウの周期とすることで、
1:52:57	が補修性がを有するというのでこのは形を選定しております。以上です。
1:53:05	規制庁石田です。
1:53:06	多分ちょっと保守補修性という視点でいうと今のご説明は、あまり
1:53:13	御説明になっていないような感じがいたしましたので、ちょっとまた、
1:53:17	社内で揉んでいただけませんか。
1:53:23	北海道電力の室田です。江藤インダさんからご指摘いただいた点もう一度整理させていただきます。失礼いたしました。
1:53:31	よろしくお願いいたします。
1:53:32	ちょっと細かい話ですけどこの多元でいいのですね時刻歴のところは。
1:53:39	時間秒で書かれていて、
1:53:42	これは当然ジツウ
1:53:45	10 キロ秒のことを言われてるんですよ。
1:53:55	北海道根井くんとかICS、実機の量を考えております。以上です。ですね。それもですね、これ実験スケールの場合と、実機の場合で、
1:54:06	時間軸が変わりますんで、そこは、
1:54:10	ちょっと全体統制の話であって恐縮なんですけども、わかるようにしといていただけませんか。いろんなところで単位が出てくるんですけど、その単位はどこ、どちらの場合のこと言ってるのかわからないので、
1:54:25	それはちょっと細かい話です。よろしくお願いいたします。
1:54:31	北海道電力の高石です。もう、
1:54:34	承知いたしました。実験等、わかるように資料適正化していこうと考えております。はい。です。あと一つですが、えっとですね。
1:54:44	ここで、このページではですね上流の流量類流向っていう話と制限は-8K周期及びシンクって話の二つについて、
1:54:54	と書かれているんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:56	この両者の関係はどういうことなんですかね、ちょっと。
1:55:02	ちょっとよくわかんなかったんですよ。具体的に言うそうですね例えばここで設定した、黄色なり緑色なりの制限はっていうものを使って、
1:55:17	20 / sec 10 立米 / sec のですね、順流、逆流の流れを
1:55:23	再現したりできる、そういうもの。
1:55:27	ということなんでしょうか。再現するというそういう、
1:55:31	組み合わせを考えておられるんですかっていう話ですが。
1:55:39	事業者、北海道電力の高石です。事業者内で相談、確認いたしますので、少々お待ちください。
1:56:18	北海道電力の高石です。藤。
1:56:24	資料 1-1 の 51 ページの、
1:56:28	検討方針に、
1:56:31	記載させていただいております。
1:56:35	基本ケースとしまして、まず定常流を用いてですね、定量の実験ですとか 3 次元解析。
1:56:44	でですね流して、まず損失係数を確認、
1:56:50	しようと考えております。その他、流路縮小工の設置してですね、放水ピット内の水位挙動を確認するという目的ですね、
1:57:01	制限は、によって、
1:57:03	を入れてですね、確認しようというふうな位置付けで考えて、
1:57:08	おります。
1:57:09	以上です。
1:57:11	規制庁石田です。はい。二つ、それぞれ性格の異なる検討だということと理解いたしました。これもですね、別れにしておいていただきます。
1:57:23	組み合わせ組み合わせるのかと思ったときにどうやってこれ制限はと流量を設定するんだろうって非常にになりましたんで、
1:57:32	はい、別物で、あくまでも基本挙動を見るものそれから応用問題であるっていう、そういうふうな、
1:57:40	あれなんてな考え方になってるのであれば、そこちょっとだけ追記いただければ。
1:57:46	誤解がないと思いますんで。
1:57:49	よろしいでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:50	はい。北海道電力の高石です。実験ごとに目的がそれぞれ違って、別に実施するということですね。これが少資料に、
1:58:00	を適正化していこうと考えております。以上です。
1:58:04	よろしくお願いいたします。
1:58:11	規制庁の岩木ですが、私からの質問とちょっと予定していたのは、一応イシダとかぶっちゃってるんで、そう議論の中でちょっと、
1:58:20	さらに疑問がわいたんで、ツジつ確認させていただきたいんですが、
1:58:24	そもそもこの検討って、3号放水ピット。
1:58:27	僕、実験からシミュレーションなんだけど、
1:58:30	二つもともと課題があったっていう。
1:58:32	これは我々から、
1:58:33	論点として出したものがあるって、
1:58:36	この流路縮小工としての、
1:58:39	効果の妥当性、
1:58:41	というと、
1:58:42	そもそも解析モデルとその損失係数の妥当性って2種類あるんだよね。
1:58:47	で、
1:58:48	先ほど話行ったときに、例えば53ページのコウ派遣Dのこの、
1:58:54	そもそもこの波源の、
1:58:56	設定。
1:58:57	その妥当性といったときに、例えばそのルールを縮小来、
1:59:02	まず損失係数を定めるために、妥当性を確認するためには、
1:59:08	どういった波源が必要なのか。
1:59:11	それと、
1:59:12	さっき言った、最初言った流路縮小工で津波繰り返して、また、
1:59:18	三重オイルでの、
1:59:19	水が上かぶさってしまっただけがどういう影響になるのかっていう話。
1:59:26	とは別の話だと思うんだよね。
1:59:28	だから、その辺が、
1:59:30	一番最初に戻ると、私が言っていたのはただ、例えば、
1:59:36	いわゆる実験の目的と3次元の目的と何をね、最終的に

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:41	実機での対応っていう話をちょっと区別して、そこを整理して、目的とか効果とかぐらいの効果、そうそう。
1:59:49	呉コウ検討評価検討の手順っていうのは、ちょっと整理整理してくださいっていう話をしたと思うんですが一番冒頭に、そこも神尾。
1:59:58	も踏まえてですね、そこにかみ合うように話をしないとイケなくて、
2:00:03	そうするとさっき言ったような、
2:00:04	一期の場合は、どういう波源、
2:00:07	いすべきかって話はあるよね。でも、
2:00:10	出た実験、
2:00:12	はあくまでそういうケースだけ。
2:00:15	だけどね、多分ねらいとしてやろうとしてるのは、そもそも
2:00:19	3次元シミュレーションの可能性がそこに書いてあるように、
2:00:23	たくさんあって、
2:00:24	このシミュレーションをモデル化する。
2:00:26	3次元としてのそのモデル化時、実機モデルに持っていくための話ですよね。それは、
2:00:33	そのときもちょっと言ったんですけど津波っていうのは、繰り返し、
2:00:38	起きるので、その理解の繰り返しの層ん中で行った時に、
2:00:43	略称コガコウね穴の大きさが十分なのかって話までちょっとあって、
2:00:47	そういった話も含めて、
2:00:50	基本的に一次研さん試験、
2:00:52	両方見ないとイケないんだと思うんですよね。
2:00:55	そういったことから考えたときにちょっとここって考え方があると。
2:01:00	そう検討するステップによって、
2:01:02	励む励む考え方も一緒なのか。
2:01:05	違うのか。
2:01:07	ユフ違ってもおかしくないので、
2:01:09	その辺の考え方は我々としてもちょっと確認しないとイケないと思うんで、そこちょっと整理いただけますか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:16	私の考え方がちょっとおかしかったら指摘いただければ結構です から。
2:01:29	北海道電力の室田です後先、先ほどからの考え方であったりフロ ーを整理する、するようにとですねコメントを受けてますので今 ただいま江崎さんから、
2:01:40	ありました通りロスの妥当性だったり流路縮小工のですね、効果 の二つの確認のために現状のこの選んだ波源でいいか、それ、周 期もですね、周期であったり、それらも含めて、
2:01:53	これで良いのかというような整理を改めてしたいと思います以上 です。
2:06:49	私のコメントはもう一部なんで、53 ページの羽根Dの葉系を見る と、
2:06:56	この第1番目っていうか一番左半図を見ると、
2:07:01	これって一。
2:07:03	いう更新分が、何か低いような気がして、12. 12+5で17号、
2:07:10	ぐらいあるんですね、波の高さがその2分の1とすると。
2:07:15	8.5 ぐらいになるんで8.5にしない理由は何かなと、いわゆる保守 性を見るんだったらそうした方がいいんじゃないかかなと思ったん ですけど、これについてはいかがでしょうか。
2:07:34	はい。北海道電力の高石です。
2:07:37	藤。
2:07:38	今の流路縮小工の方が、
2:07:44	の方がですねTPマイナス1メートルとなっております。藤。
2:07:51	この中で、
2:07:54	それ以上のハケを見たときに、この
2:07:59	低い部分につきましてはもうリレーシュクショク十分に通過し た。
2:08:05	そういった、
2:08:13	すいません。
2:08:15	総レンジより高いところあるじゃないのって言ってるんだけど、 それって何で再現しないのかなと思ってのわけなんですけど、単 純な話。
2:08:23	で安全性を見るんだったら、再現すべきじゃないなと思って。
2:08:27	しない理由がわかんなかったんで聞いただけですけど。
2:08:30	非常に単純な話。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:43	北海道電力の高石です。
2:08:46	8.5でJIS。
2:08:48	それに合ってくるというところの後、今後検討していきたいと思 います。
2:08:54	明確に、
2:08:57	はい。衛藤。
2:09:00	今後、検討して、
2:09:03	次回回答したいと思います。以上です。
2:09:09	藤規制庁シゲマス1点だけ私の方からこの53ページのですねこの 龍
2:09:19	ヶ井関実験に用いるは形。
2:09:21	の絵と真ん中、
2:09:24	黒丸二つ目かな。
2:09:26	1次元解析結果で放水ピット数が最大、
2:09:31	で、実際だからこの葉系のその下にある波源でいいのは稽古令和 放水ピット一井ですかね。
2:09:39	要は、海側の、
2:09:41	放水ピット位置、
2:09:43	まずそこは嘘でいいですかね。
2:09:46	北海道電力の高石です。衛藤カセンが、ホウスイ、
2:09:51	治水で
2:09:53	点、青の点線が放水コウ側の噴水となっております。要は要は、 管路の出口っていうんすかね海川のスズエトヨダ系を、
2:10:03	じゃあ今度解析とか実験に入力する位置ってのはそれ合致して るのかっていうのがちょっとよくわかんなかったんすけど。
2:10:12	もし合致しなかったらこれ津波の波力の方でも申し上げましたけ ども、まず違うなら違うでそれが当間補修。
2:10:22	敵なのかとか、そういったの、ちょっと整合性と保守性とかいう のをちょっと。
2:10:26	ちょっと説明してもらえますか。要は場所が違うと何か流速とか 圧力とか、市のエネルギーとかも大分違うような気もしたんでそ の辺って何か、何か。
2:10:45	はい。北海道電力の高石です。入力する位置につきましては、
2:10:52	資料、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:10:54	1-1 のですね 54 ページにございます。3次元モデルがわかりやすいかと思いますが、アノ等、
2:11:02	このような、後1から、実際入力することになりますとそれの保守性等につきましては、
2:11:10	江藤。
2:11:11	今後、
2:11:14	検討して、回答したいと考えております。以上です。ハイエース規制庁フジワラです。多分54ページこれ放水炉で全部模擬してるわけじゃないですねきっと。
2:11:24	だから、その違いを踏まえて実験も同じですけどそれじゃ今後説明いただけるようお願いいたします。はい。じゃ、とりあえずお昼に、
2:11:33	休憩を挟みたいと思いますのでといった文字起こしを停止します。
2:11:35	規制庁フジワラですヒアリング再開いたします。
2:11:38	はい。規制庁の江崎ですけど。
2:11:41	先ほど午前中に、私の方で出したコメントの中で、いわゆる、
2:11:49	だっけ。
2:11:51	52ページの3号機放水炉ピツ放水ピットルール縮小鴻巣の話で、
2:11:58	いわゆるその実現性の可能性っていう話は、
2:12:02	お話しさせていただいたんですけど、
2:12:04	いわゆる、
2:12:05	そこは多分1次元のモデルで、
2:12:08	多分、実際の波を使ってどれだけの流量、
2:12:12	という話ありますよね。どうせ総流出させなきゃいけない部分、いわゆる保険の見積もりは減らさなきゃいけないので、
2:12:18	それをどれだけプールすることが可能なのか。
2:12:21	ということも含めて電気品室の、
2:12:23	程度溢水、他条文への影響って話もあるんですけど、
2:12:27	そういった話があって、基本的には、
2:12:30	多分、
2:12:31	流出商法の形状って、フィックされると思うんですね。それに対しての妥当性を今ここやっていると思っていて、
2:12:38	そうすると、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:12:41	上流側がまだ終わっていないので、
2:12:44	開口率や案内やら、
2:12:46	変わる可能性があって、それが実験、
2:12:49	多分、
2:12:50	対応はどう図られているのか実験の、基本的には今あるもので、 検討しようとしているんだけど、その実験は
2:12:58	階層的な位置付けになってしまう可能性も、
2:13:00	可能性は否定できない。
2:13:02	今状態です。
2:13:04	そうしたときに、その外挿が妥当であるってということが何かし、 解析的に、
2:13:12	説明する。
2:13:14	ということにするのか、そういった考え方とか全体の流れがです ね。
2:13:18	逆に言うとそれを逆に、
2:13:21	どういう状態だったら、実験までフィードバックしなきゃいけない のか。
2:13:25	ていう話ですよ。だからそこをちゃんときちんと説明しないと、 ここの説明性の、
2:13:31	すべてにおいての信頼性がまだ、
2:13:34	欠如してるっていう、いうことなんですよ。そういったときに、 じゃあ全体のフローで考えたとき、全体感をね、
2:13:41	対津波設計の関連する中でここに関連するもの。
2:13:46	上部の影響も含めて、
2:13:48	どのような位置付けになってステータスになってるかっての 多分、全体のフローチャートを考えてみて、どういう
2:13:56	フィードバックするような状態があってもフィードバックしなく ていようにするためには、どういうふうに考えているのか。
2:14:04	ていうのもそう。
2:14:06	この位置付けとして重要になってくると思うんですよ。
2:14:09	例えば、先ほどから我々の方から出ている、
2:14:12	1次元と3次元と実験をそのまま、
2:14:16	比較する。
2:14:18	でもそういうケース。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:14:20	ある程度、
2:14:22	固定化するって話でもそう数字というよりは、基本的な考え方なんでしょうかね。開口率とか、それが形状やあれが変わったときに、
2:14:30	何が変わるのかとか、変わるものはどういう因子で、
2:14:35	そこだけはねどのぐらいの幅を持っていけばいいのか、実は実験にその幅を持たせるのか、そのあとの渋谷故障解析。
2:14:46	その3次元と1次元を待たずに、実機に照らし合わせて比較するときに、そこで調整できるのか確認することができるのか、そういった考え方ってのは全然、
2:14:57	全体的にはまだ、
2:14:58	足りてないなっていう気がするんですよ。それが必要かどうかわからないですよ。ただいま、基本的には、
2:15:05	感度解析を交えた入力津波ってまだ先の話ですよね来年以降の話ですよね。
2:15:11	そうするとその中で行ったときに、
2:15:13	これの話。
2:15:15	が、どれだけ今、ヒアリングしてる中で、
2:15:19	妥当な設計の考え方に方針になっているか、妥当な方針っていうか、いわゆる適切な
2:15:27	方針になってるかで見通しがつくような流れになってるかっていうのをちょっと確認。
2:15:32	がちょっと、一つしかねるので最終的にこれでいいのかどうかっていう。
2:15:37	判断か、つけがたいという部分が出てきます。全体の設計への対津波設計と、また他条文への設計の影響を踏まえた観点で、
2:15:47	この部分が、どういうやり方をすれば、
2:15:51	妥当だっていう、
2:15:54	妥当性が見出せるのかということを説明。
2:15:57	仕切っていないような気がするんですよ。そういう観点で、
2:16:02	お話ししていただいたということで、ちょっと趣旨をもう手書き適切にそちらにお伝えするために、再度もう一度
2:16:11	ご存じで行ったコメントの趣旨を改めて説明させていただきました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:16:20	はい。北海道電力の高橋です。午前中、皆さんからもフローをと、いろいろお話いただきました。今江崎さんから言われたようにですね、
2:16:32	サンゴの流路縮小工の穴あけ、この辺については我々として今考えてるものもありますけれども、これ会合で決まったものではございませんので、そこが変わると実験にも影響するだろうしシミュレーションに対してもってということかなと思いますんで、
2:16:48	そこについてはですね、今言われた決め、
2:16:54	手のことではなくてある程度幅を持ってちゃんと成立するような、
2:16:59	ものでねそれが幅を持った時に実験でその幅を説明するのかシミュレーションがでやるのかってというようなところの考え方もですね、整理してですね。
2:17:10	どういうふうにやっていくかっていうのは今ちょっと回答ございませんけれども、考えたいと。さらに、今やってる部分っていうのは、耐津波設計として、
2:17:21	敷地に漏らさないってことを前提にやってますけれども、これ、どんどんさかのぼっていけば、3号のフラップ流路医療縮小工の上流にあるフラップゲートが閉まって補機放水が、
2:17:35	敷地に溢れるとか、そういうところにも繋がってた条文、牧呉オク崖錐とかにも影響するだろうと、その全体の流れで今こういうところを検討していて、
2:17:49	ていうようなところが、しっかり見えるようにして欲しいというふうに認識しましたので、社内でちょっと考えたいと思います。
2:18:00	規制庁の江寄です。よろしくお願ひします。
2:18:07	規制庁藤原です。せっかくなんでちょっとまとめ資料資料1-2の、
2:18:13	718 ページを、
2:18:15	ヒライ。
2:18:17	エミてもらいますかね。
2:18:34	718 ページですね。
2:18:38	この718 ページの、これが今管路解析の一部の結果のうちの、あれですかね放水ピットの多分あれすか敷地。
2:18:49	高さ10、10メーター版ですかね。対比すべき結果が一応暫定値ではあるけど一応こういうものが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:18:57	この時刻歴だけど、これじゃこういう理解でよろしいんですね。
2:19:04	城電力の誘導施設その認識で問題ございません。はい、わかりました。一応今の前提じゃコウあったとしても今後、何か幅が、
2:19:14	その辺はいろいろ持ってここういうのが成立してるかっていうところはちょっと改めてここういうところは見さしてもらいたいと思いますこれ見ても何か、
2:19:22	あんまり何かこう、うまく、
2:19:26	津波が来てしばらくはまだ上までてっぺんまで水コイケドイ箕輪な大南一派第2は、
2:19:33	第3ハダ4はぐらいですかね、何かそんな感じで何か。
2:19:36	ナカヤマがポコポコと出てって、この変数と水が出て下に流れ落ちていってるのかなと、印象づけあくまでもこれ1次元、
2:19:44	今解析の一部の解析結果です。これが3次元でどうなるかというのは、今後踏まえて、内容の方を見させていただきたいと思っておりますので、
2:19:53	そういう認識でお願いします。
2:19:57	そしたら次のコメントに移りたいと思います。
2:20:03	規制庁石田です。それじゃ午前中に引き続きですが54ページ。
2:20:10	伺います。
2:20:16	細かい話になりますけれども、あのですね、概要の二つ目のポチのところ、一定流量を入力し損失水頭を算出する。
2:20:26	と書かれているんですが、
2:20:28	この損失水等の、
2:20:32	算出する場所ですね、インとアウトどのポイントとどのポイントの間のスイトウなのか。
2:20:42	伺います。はい。
2:20:46	はい北海道電力の高石です。
2:20:49	どう。
2:20:50	三次元、
2:20:51	解析の特徴としまして実験ではできないような場所の損失水頭等も計測できるということで、計測位置については
2:21:03	今後、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:21:06	細かいところについては検討していきますが、全体の損失水頭としましては、床放水ピット上部と書かれている部分の推移と、水槽、巨大水槽の位置のですね、
2:21:17	推算等をですね測定して、全体の損失水等は計測していくような、算出していくようなそういったことを考えております。以上です。
2:21:31	えっとですね、全体としてのサイトウ算出位置は、モデル図の中に記載いただきたいんですがいかがでしょうか。
2:21:42	はい。北海道電力の高石です。資料に記載するようにしていこうと考えております以上です。
2:21:50	はい。よろしく申し上げます。それから、えっとですねモデル図の中の四角の中なんですけれども、
2:21:58	定常0については一定の流量を入力すると書かれていてこれが土佐、午前中にも、この右側で言うところのあれですよ。2立米パーアワーだったり10立米パーに相当するものだと理解しました。
2:22:12	それで、制限はの方なんですけど、設定した入力は何になるように、流量を入力するっていうふうに書かれてるんですが、ここで言うこの流量っていうのは、
2:22:26	何かこれ数字を持たせています。それとも、入力は形が、設定できるように、流量を可変させる。
2:22:36	ためのものということでしょうか。
2:23:00	北海道電力の高岸です。社内で確認いたします少々お待ちください。
2:23:17	北海道電力の高石です。制限は
2:23:21	に関する入力は系につきましては、
2:23:25	入力した流量を変化させて、は形を、
2:23:30	作成すると、というような形となります。
2:23:33	以上です。
2:23:35	そう、そうするとですねえとて上流で言うところの流量っていうものと制限はというところの流量、ものの意味合いが多分異なっていて、定常流の方は、
2:23:46	あらかじめ決めた流量になるように入力する、定常流なる方は、葉系を優先して、その葉系を作るために流量が連続的に変えてって設定するという、そういうことだと思うんですけども。
2:23:59	これ単純に流量というふうに書かれるとちょっと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:24:02	午前中も私、
2:24:04	質問させていただいたんですけども、特に制限はの方の流量、ここで入力って書かれるとですね、は系と流量両方コントロールするかのように入れてしまってますね。
2:24:13	非常に混乱をするんですね。
2:24:16	なので、ちょっとここはこの四角の中の書きっぷりはちょっと工夫いただきたいんですが、よろしいでしょうか。
2:24:25	はい。北海道電力の高石です。
2:24:28	せて上流と制限は出野アノ流量の扱い。
2:24:33	がですね。
2:24:34	の違いがわかるように、記載を適正し、したいと考えております。以上です。
2:24:41	規制庁石田です。はい。よろしくお願ひいたします。
2:24:51	すいません規制庁中尾さんです。私の質問は非常に、
2:24:55	この資料見て非常に単純に考えるんですけど、
2:25:00	52 ページでは3次元の解析は何でもできるようなことを書いてあるんですけど、
2:25:06	53 ページの、
2:25:09	54 ページの、
2:25:12	3次元放水ピットって3次元でこれだけ複雑な
2:25:17	放水ピットの形状をモデル化するんだったら、この先の放水管とか放水で全部をモデル化できるんじゃないですかと。
2:25:26	何でやらないんですかっていうのが非常に不思議で、わざわざこれを1次元に直すメリットって何かあるのかなと。
2:25:33	例えば、3次元でやるメリットとしては、今放水管が途中で壊れても、
2:25:41	プレイないからいいんだつつてるけど、その壊れ方によっては、
2:25:46	津波が入ってくる量が違ったりいろいろ
2:25:49	今後検討ができるんじゃないかなと思うんですね。
2:25:52	そういうめり1次元ではこういうのは無理だと思うんで、3次元をずっと使わない。
2:25:58	B、
2:26:00	なぜ使わないのかだと、手間なんですけどこれだけ手間のモデルを組むんだったら、あとはそんなに難しいモデルではないので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:26:09	全部一括の系統でやったら、いろいろ応援はできると思うんですけど、この点についてはいかがでしょうか。
2:26:18	はい。北海道電力の高石です。現在、3次元解析。
2:26:27	この損失係数等をですね、確認する上では、3次元解析、1次元解析、生理模型実験の三つを同じ条件で
2:26:39	計測ですとか、
2:26:41	算出をすることで、そこへ、損失係数ですとかそういったものの妥当性を示すことが肝。
2:26:48	できると考えております。
2:26:50	その上で今おっしゃられたコメントのですね、3次元解析の
2:26:56	延ばすとか、そういうことにつきましては、今後フロー等を作成、
2:27:01	する際にですね位置付けを改めて確認し、
2:27:06	社内等でも確認してですね、
2:27:10	回答させていただきたいと思います。以上です。
2:27:14	規制庁中房です。何か。
2:27:18	よくわかんないんですけど三次元、ここまで複雑なモデルリーダーと法制化のバスとか放水ていただく。
2:27:26	やるほうがメリットがあるんですけどそのメリットと、今言った損失の系統を見るっていうのは、ちょっと全体的な話。
2:27:36	では、部分的な話をしてるんじゃないかなと私は全体。
2:27:41	3次元の放水ピット全体を30円でモデル化したら、
2:27:45	大体おおよその方わかるじゃないかなと。3次元のこの放水ピットの部分だけは、水理試験で確認して、その
2:27:55	ホソノスケートとか大体模擬できるというのを見ればいだけじゃないかなと思ったんですけど、この点の回答っていうのはもっと明確に答えていただけませんか。
2:28:08	はい。北海道電力の高石です。社内確認いたしますので、少々お待ちください。
2:28:34	北海道力の高石ですと1次元解析と3次元解析の位置付けにつきまして、1次元解析で、全体をやるという方針としてることにつきましては、やはり1次元解析解析の
2:28:49	負荷等がですね、小さいので、それ、
2:28:53	そういったものを用いて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:28:57	実施をしていきたいと考えております。一方で三次元解析につきましては、
2:29:03	計算の負荷等が大きいので、1次元解析に対するこの確認という意味です、3次元解析を実施していくというようなことで考えております。以上です。
2:29:13	すいませんこれあんまり追求するつもりはないんですけど、この回答をいただくと、
2:29:19	その1次元で一番懸念できるケース。
2:29:23	1ヶ月間に係数絞ってそれを3次元
2:29:26	で全体を見るっていう手もあると思うんですけど、ケースを絞り込むんだったら、全体系を3次元でやる方がメリットあると思うんですけど、家絞り込んだケースを確認するって意味だったら、
2:29:40	3号の方針設備全体をやるメリットとある、あると思うんですけど。
2:29:45	何か、回答についてさら急をせざるをえないような回答だったんで、これについて明確に考え方を、いや今やれって言うんだじゃなくて、
2:29:55	全体の流れの中で、そのメリットデメリットを踏まえて、こうやるっていう考えを整理して欲しいんですけどいかがでしょうか。
2:30:11	北海道電力の青木です我々の、
2:30:14	今日いただいたコメントっていうところについては3次元解析でここまでモデル化してるのであればその先の方水路の先の方までモデル化した方が、メリットあるんじゃないかっていうような指摘かと思っております。
2:30:27	我々がこの範囲をモデル化した経緯っていうところにつきましては、この流路縮小交付金については嗅覚とか給食とか、細かい管路は曲がったりと、複雑な形状しているということが前提とありまして、
2:30:41	この辺りの現象がどのようになってるのかっていう確認を目的にスタートさせたところがございます。従いまして
2:30:49	もう課題と考えております複雑な現象っていうところを見るっていう観点でこの範囲をモデル化したっていうところがまず一つあるということになっております。また一つ課題というところでありまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:31:01	3次元の解析をやるにあたって、その3次元で入れるパラメータ、条件とかであったりするものについては、それがいいかどうかというだとう判断するにあたっては実験とか、
2:31:13	の条件すり模型実験、ちょっと模型のスケールとかで、問題はあ るんですけどそこで、3次元の解析の妥当性確認した上で、その 3次元解析モデルの利用性っていうところを、
2:31:25	その前提で説明していきたいと考えておりました、そうなってき ますと、この3次元解析でモデル化する範囲っていうのは実験と 整合させた方がいいというふうに考えておりますのでこの範囲を モデル化したというところになっております。
2:31:39	ちょっとその辺り踏まえましてどのようなくモデル化するかっ ていう考え方含めて、資料に反映させていきたいと考えておりま す。以上です。規制庁中澤です。わかりましたその考え方を、
2:31:51	しっかり書いて、流れがわかるようにしていただければこの位置 付けが明確になると思いますので、その点はよろしくお願いま す。私からは以上です。
2:32:05	規制庁の石田です。続けて55ページの方見ます。
2:32:11	えーとですね。
2:32:13	55ページですね
2:32:17	概要の二つ目のポチの最後に、水位を計測し損失水頭を算出する とあるんですけども、これはどこのことでしょうか。
2:32:29	はい、北海道電力の高石です。
2:32:32	藤。
2:32:34	水理模型実験で推移を計測する位置につきましては、
2:32:39	資料1-1のですね、55ページ、水理模型実験イメージ図の中に記 載しております通り、放水ピットの上部のところで推計と書かれ ておりますがここでの推移と、
2:32:53	あと、
2:32:55	水槽内での推移を比較して、全体の損失水等を算出したいと考 えております。
2:33:03	以上です。
2:33:05	規制庁の石田です。
2:33:07	衛藤。
2:33:08	要は、
2:33:09	自由水面を持つ2点の水位差。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:33:12	△Hを求めてそれが一、その水頭だということと理解いたしました。
2:33:21	少しそこは補足いただけませんか。
2:33:26	はい。北海道電力の高石です。承知いたしました。はい。それで、その上での、
2:33:33	質問になるんですけど、結局、
2:33:37	大きい水槽のところと放水ピットのところの受重水分が2ヶ所あってその水頭差、du流量を発生させたときの水頭差、水差でもってそれをサイトウさんに、
2:33:49	損失水頭に読みかえるというやり方だと思います。そのやり方からすると、この実験装置の場合、
2:33:56	どこの部分の損失水等を継続することになりますかね。
2:34:15	はい。北海道電力の高石です。
2:34:20	あと、
2:34:22	どこの部分の損失水頭を算出するかということですが、今説明させていただいた水理模型実験イメージ図のうち、水槽から放水路に接続したところの、
2:34:34	いう主流と書かれているところから、
2:34:39	上段放水ピット上部のところの流路縮小工というふうに書かれた部分ありますが、そこまでの範囲の損失水等を確認することに、
2:34:51	なると考えております。すいませんもう1回確認ですけど、
2:34:57	おっきい水槽のほう水路に繋がってるあの赤字で流入出って書いてあること、
2:35:05	それと、
2:35:06	流路縮小工の、
2:35:08	はい。構成ピットカスカピットの、
2:35:20	全体情報セキと上部のところ。
2:35:23	の、
2:35:24	と。
2:35:28	そうすると全体のですね、すいません。
2:35:31	衛藤。
2:35:33	損失、
2:35:35	損失水等を計測することになると考えております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:35:39	そうするとあれですかね放水ピットのところはコウ、コンマ5メートルの円筒形のところですけれども、この円筒形のところで水位が上下することで、発生する圧力損失その水頭というのを見ると、
2:35:56	同じように放水路のところは、これはあれですかね。
2:36:03	実機では4メートルの内径を持ってるところですかね。それ、そのところの損失水頭もう呉あわせて見ると、
2:36:13	というのが実験でえられる損失水頭と理解すればよろしいですかね。
2:36:27	北海道電力の高岸です。
2:36:29	事業者で確認いたします少々お待ちください。
2:37:23	北海道電力の高石です。
2:37:26	三浦さんの認識のイシダすみません、石田さんの認識の通りでございます。失礼いたしました。
2:37:34	規制庁石田です。えーとですね。
2:37:38	そうするとですね実験出られる損煤イトウっていうのは、あくまでもその放水炉丹のところと、とそ放水ピットの
2:37:49	自由水面のところですね、この区間を一括した設水道がえられるだけなんです。
2:37:57	で、
2:37:59	要は、
2:38:00	実験の結果と、
2:38:02	3次元解析の結果ってのは両者突き合わせてその再現性云々っていうのを評価していくっていうふうに、
2:38:11	ご説明されたんだというふうに理解しているんですけども、そうすると、実験と突き合わせのできるデータっていうのはその実験で、えられるのは全体系のところだけなので、
2:38:23	そこについてだけ、比較対象を
2:38:27	解析で行うという、そういう理解でよろしいでしょうか。
2:38:32	重ねて言うんですけども、先ほど解析の方は、解析上細かくですねその点を設定することができるのでというようなご説明があったかと思ってるんですけども、
2:38:45	ただしそれは解析上出てくるのはわかるんですけどもね、実験結果ではそういったデータを取得できないので、そこら辺についての比較対象ができないということ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:38:55	と理解したんですが、それでよろしいでしょうか。
2:39:07	はい。北海道電力の高岸です。実験については全体の損失水等を見る。
2:39:14	こと。
2:39:15	ができる。
2:39:17	というふうを考えて、その他のちょっと細かいところについては、
2:39:22	現時点では確認することができないと考えております。以上です。
2:39:27	はい。なので、3次元解析との対応、再現性の確認というのは、その全体、
2:39:34	全体としてのその設備等についてのみ、
2:39:37	可能だということでしょうか。それでよろしいでしょうか。
2:39:43	はい。北海道電力の高石です。
2:39:46	石田さんのおっしゃる通り、全体での再現性の比較となると思います。以上です。
2:39:57	現実的には、実験ではそこら辺ぐらまでしかやらないということなのかもしれないんですけども、ちょっと、
2:40:06	3次元解析ではいろんなことをやってですね、実験の結果との、
2:40:11	突合せなんかをやりながら、解析の妥当性みたいなやつを確認していくというお話だったんですけど、そうは言いつつ、意外と直接比較対照できるデータが少ないんだなというふうな印象を持ちました。
2:40:25	何かそこら辺は、
2:40:27	工夫、実験の側ですけれどもね、工夫できたりしないのかなっていうようなことは、これは個人的な感想ですけど、そういうような、余地はあるような気がしております。
2:40:47	はい。北海道電力の高石です。
2:40:51	あと模型実験の推移など測定する点等につきましては今後の実験を開始していくにあたって、
2:40:59	検討を
2:41:02	していきたいと考えております。以上です。
2:41:07	はい。石田ですけれども、
2:41:10	どか一の業者さんに実験を外注されるのかもしれないですけども、そのときに、よくその外、業者さんとですね、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:41:21	その辺はよくご相談され、
2:41:24	見てみた方がよろしいかと思えます。いろんなデータをとれる方が、解析上、解析等の比較がいろんな局面で可能になって参りますので、
2:41:36	ということで、
2:41:37	はい、ぜひよろしく願いいたします。
2:41:41	はい。北海道電力の高石です承知いたしました。
2:41:49	あ、規制庁の江寄です。同じで 55 ページの中で、
2:41:53	水理模型実験のイメージ数の中で、さっきちょっとは触れたんですけど、
2:41:58	コウ水路、
2:41:59	この寸法とかですね、その材質、
2:42:03	いわゆるそのケースだとか、実機との層形状とか延長の違い。
2:42:07	じゃあどう考えるのか。
2:42:09	いわゆるそうこれをねこういうような実験、
2:42:12	理解はしてるんですよ。
2:42:14	うん。基本的にはそこの影響を加味しないってということで、基本的にはあれでしょ。
2:42:19	不法水道から株で拡大されることによる損失だとか、そういうのも含めて、
2:42:25	モデルの対象、いわゆるあれですよ、前のページの、
2:42:29	54 ページの 3 次元の上、
2:42:32	モデルのイメージ図はここまでを範疇としてやっていてそれはなぜかという話。
2:42:37	も含めて、何らか説明がないので、
2:42:41	例えば、ベッショ中では 50 分の 1 つけるとか書いてるんで
2:42:46	この辺がですねちょっとわかりにくいんじゃないかと思うんですよ。
2:42:49	このいわゆる実験の、
2:42:51	ねらい、ちょっと石田が言った話と近いんだけど、基本的には何を求めて測定して、
2:42:59	どのような効果っていう部分を抑えようとしているのかそのためには、どこまでをその解析領域だとか、前の年後、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:43:08	実験領域として考えればいいのか出そう、他の放水量といったものは、こういった扱いにしておけば十分なのか。
2:43:17	そういったような考え方がちょっと、整理して書いていただいた方が、
2:43:22	理解しやすいと思うんですがいかがでしょうか。
2:43:26	北海道電力の高石です。解析領域の考え方ですとか、
2:43:31	実験領域の考え方等につきまして、
2:43:36	その考え方についてですね、資料に記載して、適正化していきたいと考えております。以上です。
2:43:50	規制庁の若狭です。
2:43:53	私からは同じような話になりますので 55 ページのこの水理実験について、この中身見ると最初に
2:44:00	概要になってるんですね。
2:44:02	そうじゃなくてやっぱり水理実験の目的をまず書いて、
2:44:08	その目的を満足するような水実験としてこういう仕様なんですよと。
2:44:15	いうことを書いて、その水理実験は 3 次元の損失臓腑との、
2:44:23	こういうところを見るんですよっていうことをまず書いて欲しいなど。これを見ると何をやるか、この辺は今まで我々議論の中ではわかってるんですけど、
2:44:33	すべての人が見ると全然わかんないと思うんですね。その辺の記載のほうを充実させてください。私からは以上ですけどよろしいでしょうか。
2:44:42	はい。北海道電力の高石です。水理模型実験の解析につきまして、目的ですとか、
2:44:49	をしっかりと記載してそのねらい等もですね、わかるように記載を、
2:44:54	適正化してい。
2:44:56	いこうと考えております以上です。
2:45:11	はい。規制庁の谷内です。
2:45:13	いろいろ追加で話になってはいますが、
2:45:21	さらにもう模型実験のケースの話、先ほどもちょっと述べましたが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:45:26	追加ケースを、こういう形で突然、6 ケースふやすような形のことを書いてますけど、この辺も全体にどんな目的、何をそこで見るのかっていうことを明らかにして、
2:45:37	説明するようにしてください。その辺、位置付けがわからないので、これは今まで行っていった話の延長だと思しますので、全体を見ていただければと思います。
2:45:53	はい。該当電力の高石です。トーモク。
2:45:57	後ろ向き実験の追加のケースにつきましてもですね、全体の目的を踏まえて、
2:46:03	必要性ですとかを改めて考えてですね、
2:46:08	実なもの等につきましては期待していくように、間、
2:46:12	記載の適正化を図りたいと思います。以上です。
2:46:22	規制庁の石田です。
2:46:25	57 ページのまとめのところですよ。
2:46:30	えーとですね、今まで、
2:46:33	皆さん指摘された、
2:46:35	ことと同じ話になりますが、
2:46:38	えーとですね。
2:46:40	まとめのところの1行目から2行目にかけて、3次元解析水理実験、1次元解析、この三つを行って、3社を比較して、
2:46:52	1次元解析モデル適用の妥当性を確認するというふうな書かれ方をしているわけですね。なので、
2:47:02	これを読む限りでは、最終的には1次元解析モデルっていうところに着地したいのかなあというふうに読み取れましたので、この辺は、
2:47:13	初めの前提条件というかフロー設定とか、そこら辺のところ、まずその前提となる考え方をきちっと整理いただくという午前中のお話がありましたので、それはやっただくとして、
2:47:28	えっとですね。
2:47:30	1次元解析モデル適用の妥当性っていうのはですね、具体的に、
2:47:37	どう、どういう。
2:47:39	どういう結果がえられればそれを妥当というふうに判断されるっていうお考えでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:47:47	ちょっとざっくりした話かもしれないんですけどその判断基準っていうのをどういうふうに考えているかというところを伺いたいんですが。
2:47:57	はい。北海道電力の高石です。
2:47:59	事業者内で確認いたしますので少々お待ちください。
2:48:40	北海道電力の高石です。当損失係数につきましては、基本的には津波の逆流
2:48:49	遡上し、逆流の方に対して損失係数が、小さい方がですね、
2:48:59	小さくなる方がノダと。
2:49:02	となる。
2:49:04	保守的になるというふうに考えられますので、そのような、
2:49:10	そのように考えておりますが、一方で引き波の影響繰り返し波についてもですね、影響を確認していこうと考えておりますので、そこら辺を、
2:49:21	踏まえてですね、今後、
2:49:25	保守的な結果となるかどうかにつきまして
2:49:29	ここ、考慮しまして1次元解析モデルの適用の妥当性を確認しようと考えております。また清家伴の水位挙動につきましては、水が
2:49:39	高くなる。
2:49:41	方となっているかなどを確認することで、
2:49:45	はい。
2:49:46	そういう、踏まえまして
2:49:49	補修性を考慮して、妥当性、妥当とできるように、結果となるような、
2:49:58	取りまとめをしていこうと考えております。以上です。
2:50:03	はい。規制庁の市田です。
2:50:07	その辺の判断基準の考え方みたいのはどうなんですかね。衛藤。
2:50:12	結果が出てからという話よりも全体方針とか何かの中である程度語っていただいた方がいいのかなという気もしてますが、ちょっとご検討いただきたいと思います。
2:50:23	損失水等に関してはですね、3次元、それから実験結果、これらに比べて、損失水頭が、
2:50:32	小さめ、少なめに出てくる方を

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:50:35	保守的というふうに考えるのかなというふうに、
2:50:38	は思いましたけれども、
2:50:40	他の要因とかくらべも考えたときにそれだけ考えときゃいいのかな。
2:50:44	っていうのはちょっと今思いつかなかったんですけどもね。そういうようなところは、全体を見渡してみてもいいですね。
2:50:55	適用性、妥当性の判断基準としてどういうものが、どういう項目があるかっていうのをですね、抽出していただいた上で、整理いただきたいと思いますが、
2:51:06	いかがでしょうか。
2:51:11	はい。北海道電力の高石です。今の
2:51:16	これ、いただいたお話を踏まえまして、全体を見渡し、この3次元解析実験、
2:51:25	Tですね、その結果の全体を見渡してですね、1次元解析モデルの適用性ですとか、妥当性をですね、
2:51:32	確認していくような、
2:51:37	判断基準を明確にした上で、適用性ですとか妥当性をですね、確認して、
2:51:47	行く。
2:51:49	はい。
2:51:50	入れるように資料を適正化したいと考えております。以上です。
2:51:55	はい。規制庁の石田です。よろしくお願いたします。
2:52:03	はい。衛藤規制庁藤原です。
2:52:06	私の方から、ちょっとホースの3号放水炉はさ、サンゴだけじゃないんじゃないかもしれないけども地方水路関連で1点。
2:52:15	あります。で、7ページ、パワポの7ページに戻っていただいてちょっと話は、
2:52:22	いやちょっと変わるんですけど、7ページにおいて指摘事項が
2:52:27	今年の2月2日に出してるやつが、感度解析については木曾ステイシノ。
2:52:31	地震による損傷とか、或いは何か津波立地の変化とか、
2:52:36	いうのを、要因をまず網羅しましょう。それが影響が検討して説明してくださいって言いましたので、回答はこの右の欄に書いてあって結論は不要ですねなぜなら、壊れるから、
2:52:49	となってます。細かい内容っていうのはこれが48から50人。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:52:55	いいですかね。48に飛んでいただくと、今の話が多分、
2:53:00	再掲された上で、4950で、
2:53:04	49かそこにその断面図が示されてると。
2:53:08	いうふうな状況ですね。これに関してですね、以前の地下水排水設備の海への排水のヒアリングっていうのがあったかと思うんですけども、
2:53:19	その時の説明の資料4、改めて読みますとですね、あちらの方の説明ではですね、放水炉っていうのは、S sによって軽微なひび割れ変形のみが生じる。
2:53:31	可能性があるとしております要は、閉塞が、
2:53:35	閉塞する可能性はちっちゃいし、
2:53:38	何かあんまりそんな壊れることはないだろう。
2:53:41	と言ってるんですね要は、通水断面って何か結構維持されてる可能性結構高そう。
2:53:48	そういうような状況です。この海側のタダ49ページの、
2:53:52	海側の地盤ですかね、ちょっとマスキング箇所を見てからあんまりないですけど、
2:53:57	要は海域ですの。
2:53:59	に設置されてルー放水色ですかね。これは液状化で沈んだ場合でも、
2:54:05	多分通水断面で何か維持されてる可能性は高いんですね。
2:54:09	となる等、やっぱ入力津波の入力位置ってのはやっぱ変わり得るような気がしてですね、今の事業者の回答っていうのは、そういった、
2:54:19	他のヒアリングにおける説明を踏まえてないようにも思いますが、この件、
2:54:25	どうなんですかね、他のヒアリング等呉と整合も踏まえて、再度ご説明をいただけますか。
2:54:35	北海道電力の吉田です。ご指摘ありました通りちょっと地下排水設備の方で放水炉は、基本的には閉塞しないというような考え方に基づいて説明していると。そういった、
2:54:50	ことを踏まえまして、こちらの放水施設の損傷の考慮についてというところも資料構成全体を適正化を図りたいと考えてございます。以上です。
2:55:04	はい規制庁東今放水のトンネル自体が液状化によって傾い、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:55:12	魔法スイッチもそれに連動して傾くようなケースもあろうかと思うんですけど、もしかしたらそのほうスイッチそのものがない状態。
2:55:19	ていうのももしかしたら影響要因として、
2:55:22	いや、ごめんなさい審査会合の指摘事項は要因をまず網羅しましょうということで、放水そのものがない状態というのも要因の一つだし、あとはその液状化によってその放水路トンネルが傾くっていうのも、
2:55:34	有意ですだからそれは要員数、組み合わせ4パターンというのが、何となく何かありそうな気がしたんですけどその点どうなんすかね。
2:55:44	北海道電力の吉江です。ご指摘いただきました通り、法制度が傾くケースであったり、場合によっては放水地がないケース、そういったことは確かに想定されると考えられます。
2:55:58	そういったことを踏まえまして、ちょっと検討した上で、
2:56:06	想定されるケースというのを明示していきたいと思います。以上です。
2:56:15	規制庁の江寄ですけども、
2:56:17	例えば、基準津波だとか、入力浅部決める上で、
2:56:20	南側防波堤、
2:56:22	北防徹底損傷を考えて、極端に、
2:56:25	ない状態。
2:56:27	ない状態を動きしてますよね。あそこがそういう状態であればこども、そういった考え方も考えなくていいんですか。
2:56:35	それはある程度、なぜそう考えたのかっていうとある程度損傷
2:56:40	程度でそこまでいかないんですよ、極端な。
2:56:44	状態を模擬することによって、
2:56:46	途中の段階のもの、中途半端な損傷のものは省略できるという、
2:56:51	判断でやってらっしゃると思うんです他のサイトもそうだと思うんですよ。そうした時ここ、基本的に、
2:56:58	同様なあ形状で隣接市場に何か隣接してるというよりは、もうほぼ同じような構造なわけですよ。ただその時に、なぜそういう同じ考えに至らなかったんですか。
2:57:09	言われたときにどう考えるのかと答えるとかそういうことも含め、置いた上で、ちょっと今の内田の話を整理していただく。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:57:17	いけばと思います。
2:57:23	北海道電力の増資です。ご指摘いただきましたことを踏まえまして、場合によっては、
2:57:33	防波堤の損傷を考慮した状態とかそういったものを参考に放水値がなくなるとか、そういったある程度、もう保守的、保守的というか極端な状態を、
2:57:44	想定した上で検討を進めるとかそういったことを今後検討したいと思います。以上です。
2:57:59	規制庁永長です。資料1の48、49にですね、
2:58:04	40、49の下から二つ目の丸で黒丸で、
2:58:10	主に海水系が放水できない場合、もしくは放水量が限られた場合には、
2:58:16	高潮で囲まれた敷地内に水がたまること等も考えられるんでそれについての他、
2:58:23	さら級が来たらどうするんでしょうかっていう。
2:58:27	回答は用意されてるんでしょうかという質問ですか。
2:58:33	北海道電力の吉井です。すいません申し、申し訳ございませんもう一度説明をお願いしてよろしいですか。48ページの、
2:58:41	指摘事項の回答で、
2:58:43	損傷、
2:58:46	管路が損傷するときには津波は多分遡上する。
2:58:50	遡上してこないと、敷地内に、
2:58:52	だけど、
2:58:54	海水系の2立米からす基本料とかわかんないですけどその流量はずっと放水冷却材水が流れ、
2:59:05	出しますよね。
2:59:07	放水系が完全に健全するまでにその水は、
2:59:12	敷地内で溜まって溢れることがないんでしょうかというサラトリの質問が来たら、それに対応する答えは用意されてるんでしょうかという質問です。
2:59:28	再度電力ノロ施設ちょっと事業者内で打ち合わせいたします。
2:59:41	北海道電力の高橋です。今の話はす。先ほど地下水、表現と合っていないねっていう話と同じで、
2:59:51	そこはちゃんと資料館、他条文含めて整合するようにしますので、もうそちらについては排水できるっていうのが書いてある。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:00:00	排出できるってわかるんですけど
3:00:04	根拠。
3:00:05	とかはちゃんと後日まとめて我々に報告してくれるという。
3:00:09	考えでよろしいでしょうか。
3:00:21	はい。北海道電力の高橋です。了解しました。
3:00:37	資料1の、
3:00:40	シノ60。
3:00:44	ページから62ページの、
3:00:46	放水ピット中間世良部の開口部の、
3:00:50	損失係数の設定について、
3:00:54	設定の妥当性についてですねこれってよくわかんないんですけど中央分権の実験値と。
3:01:00	エンドウ電力土木の技術協会の損失係数を比較することで、サノ、その妥当性を評価、
3:01:08	すると書いてあるんですけどまずですね中央分権の実験値が、
3:01:13	泊の主事設備に適用できるっていう根拠がわかんないっす。
3:01:19	例えばその実験で泊のフィールド数、フィールド数か。
3:01:23	なんで合わせてるかわからないんですけど、そこら辺のそういうそごがあつてるとか、
3:01:28	なんかそういうことがないのに、急にこの文献を引用してる。
3:01:34	そこの文献運用している根拠がわからないまま、その実験を電力土木協会の損失係数に適用できるという、
3:01:44	ここら辺の根拠は何も示されてないまま、単に結果しか示されてないです。
3:01:49	これの根拠っていうのは、
3:01:52	いつ示してくれるんですかってわかんなければもう3次元で解析すればいいんじゃないですかって、いろいろ議論するよりそっちの方が早いような気がするんですけど。
3:02:03	ここら辺の根拠の設定と今後の対応について教えてください。
3:02:47	はい、北海道電力の高石ですと。
3:02:50	今の、何をもって泊に適用できるかということにつきましては、
3:02:57	今後検討。
3:02:59	カセ新資料化して、
3:03:03	ご回答させていただきたいと考えております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:03:07	以上です。
3:03:10	今後回答があるっていうことでわかりました。はい。私から以上です。
3:03:26	はい、規制庁タニグチです。
3:03:29	61 ページ目のところ、
3:03:31	ところ、これ企業物件の確認のところにあるんですけども、
3:03:37	結局ここで言うと流量係数は0.75であるのかなあ。
3:03:43	なってくるというようなイメージで書いてあると思うんですけど、この下の表、開口率の表のところに、実験と、
3:03:52	フジモトな理論って書いてあるんですけど、フジモトの理論ってというのは何ですか。
3:04:13	北海道根井君とかイシイちゆ
3:04:15	アカイシです事業者内で確認いたしますので少々お待ちください。
3:04:30	北海道電力の高石です。
3:04:32	ちょっと確認不足で、現在、出せておりませんので衛藤。
3:04:39	確認して、
3:04:41	資料、
3:04:43	説明させていただきます。以上です。はい。併用される場合にはその辺も注意して見ていただければと思います。
3:04:58	はい。よろしくお願ひします。
3:05:01	タダウチですすいませんもうちょっとナカサトウタニグチの方もあったんで私もちょうと、特にフジモトの紙式って何ぞやとずっと理論って何ぞやと思ってて
3:05:14	この持ってきていただいたこの文献、既往文献の確認でこの方強化ってやつで61 ページにありますかなこれやっぱり
3:05:25	一般的な流流出の式とね、そのフジモト理論というものの合わせ込みで遜色ないんですよって話を言っているとやっぱりフジモト理論って一体何、どういう代物だっというのがわからない限り、
3:05:39	そもそも事業者として適用するにも値するかどうかっていうのも定かでないものを持ってきてるのか、っていうのがちょっと、
3:05:46	非常に疑問に思ってますんで、それを踏まえた上でこれにのっとった一般流書式をもってして事業者のその開口率、呉の値をはめて、
3:05:58	土木下電力独立評価の式との比較をしてるって話になってると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:06:04	結局、これ何を比較してるのかがよくわからない。単純に考えたら例えばですよ。さっきも3次元解析やってくださいなんて話やったらどうですかなんてなんか僕なんか、
3:06:15	なんか模型使って実験やってそれとこの電力土木技術協会の値とのね比較するとかね一番シンプルな方、なぜとってないのかっていうところもねやっぱりやれって言ってるわけじゃないでしょ。
3:06:27	いやその方法をとるってことの検討をしないでこの文献を持ってきたものにはめてやるっちゃうのがちょっとよくわからないで、仮にですよこの一般履修式とね何か比較するっていうのであればそれが本当にいいのかどうかっていうところをあらかじめ事業者の方で確認をしとかなきゃいけないと思うんですよ。
3:06:47	で、その中でこの文献の中の一部利用するに当たりにしても、この61ページの既往文献のカワサキフカワのね、
3:06:58	時にやっている、この実験体系と御社のね、
3:07:07	北電の
3:07:08	ピットスクリーンの
3:07:12	化学構造機器形状、
3:07:14	等を比較して、これとを適用することについてこれはもうナカハタの狩野さんが言われてますけど、適用十分できるものなものですよっていうのが、
3:07:23	示されればまだいいのかなっていうところだと思うんですがそこは、
3:07:28	申し訳ないんですけども、
3:07:30	この文献そのまま持ってくるのか、この文献の考え方を持ってきて自分たちでアレンジして証明するのか、それに対して何が必要で、足りないところがあれば何を足せば理論構築として成立するのかそこをちゃんと組み立ててから、
3:07:45	最終的に電力独立評価の値と比較をして、その適用性について論じて説明していただきたいと、私は思ってますけどいかがでしょうか。
3:07:58	はい。北海道電力の高石です。藤。
3:08:04	はい
3:08:05	おっしゃられた通りですねカワサキほカーの、そもそも適用できるのかどうかにつきまして、泊のサイトとですね、
3:08:14	について、適用できるかについて改めて検討して、それで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:08:22	それを踏まえてですね、
3:08:24	今後、
3:08:27	資料化するなりご説明させていただきたいと考えております。以上です。
3:08:37	規制庁の江崎ですけど、今の話でね。
3:08:40	こういった論文がついてくるとか、機器の耐震設計でもたくさん減衰とかいろいろ関連が山ほどチャレンジしてきたんですけど、そういった時も含めて話をしてるんですけど、
3:08:51	基本的に言うともまず、
3:08:53	公開論文ですかっていうのは一つなんですか。
3:08:57	いかがですか。
3:09:29	北海道電力の兵頭先生ちょっと事業者を確認いたします。
3:10:43	北海道電力高石です。この論文につきまして公開論文かどうかについては確認、
3:10:50	そして説明させていただきたいと思います。以上です。規制庁いただき、あともう1点ですね、信頼性を受ける分権化という観点で、必ずやっていただかなきゃいけないのが、
3:11:00	まず佐渡付査読付論文なのかどうか、それはいかがですか。
3:11:27	はい、北海道電力の高石です。併せて確認させていただき、説明させていただきます。規制庁野崎です。例えばですねそういう査読付論文じゃないんであれば、
3:11:38	改めて、加賀さんが説明するんじゃないかと、そちらがね、
3:11:44	カワサキさんに成り代わって、この実験の、
3:11:48	信頼性、妥当性をきちっと説明しなきゃいけないので、この中身を含めて説明が要るようになります。その辺も含めてですね、そこは丁寧に、
3:11:59	きちんと説明いただきたいと、内容がどうこうって言うわけじゃなくて、お作法としてそういう確認をしないといけないというこれらの審査官はね、なっているので、その辺はちょっとおつき合ってください。
3:12:13	北海道電力の室田です今、参考にしてている文献についてですね、まず、出て、出所とかどの学会でなり社内発表なのかその辺も調べたりですね査読付かどうかというのも確認した上で適用できるかも。
3:12:27	含めてまた改めて考えさせていただきます以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:12:46	はい。土岐医長フジワラですが
3:12:49	ちなみにですね市審査会合で出したコメントに対しての回答として今回のこの60ページ、61ページは、
3:12:57	何か真面目にやってるようにちょっとなかなか見えないような印象も持ってしまいますので、ごめんなさい、審査会合で出したコメントに対しては、
3:13:08	もっとかなり強い慎重にもう確実にやっていただけるようお願いいたします。これこれだけじゃないですなんか他にも結構何か、
3:13:19	あっさりとなんかさっきのあれですね感度解析の影響の網羅性だとか、いうのも一緒ですけど、全体通じて何か
3:13:28	会合に出したコメントだけきちっとやって方だけじゃないか、これを出したコメント自体は、間違いなく、きちんとやって欲しいですか。これ、
3:13:38	1回させておきます。
3:13:41	北海道電力の室田です。会合でいただいたコメントについてはですね、丁寧な対応ができるようですね。また資料なり説明の方法なり、考えさせていたきたいと思えます失礼いたしました。以上です。
3:14:45	はい。それでは質疑を続けさせていただきます。ちょっと私の方からですね、先ほどちょっとセンクツというお話をさしてもらったんで、
3:14:55	センクツに関して言います。資料1-2。
3:14:59	まとめ資料の方ですね、これのですね、651ページを開いてください。
3:15:18	一応センクツということで今回の線区谷ホンダという、一つは地表面の岩瀬んくつのあり方と、もう一つの海中、
3:15:29	海底の先決という感じです。まずちょっと、土地要因の方の専決の方からなんですけども、この651ページでは、要は表面をアスファルトで、
3:15:39	舗装するに加えて流速が早いところは、コンクリートで、
3:15:45	コンクリート舗装って感じですねコンクリートとする。
3:15:49	うん。
3:15:50	なんかちょっとここもよくわかんなかったんですけどまず、
3:15:53	まずちょっと順番にいきますと、この呉何だかな第3パラ目の、
3:15:59	4パラ目か。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:16:01	流速 8 メーター以上が発生する敷地は、
3:16:04	コンクリートを採用するっていうふうに結びになってるやつですね。
3:16:08	この 8 メーター以上。
3:16:10	というようなんですかね、実際に平面的な範囲とは何か、解析上、何かいろんな解析結果から 8 メーター以上が、
3:16:18	出てきたやつを、全部、
3:16:21	ぎりぎり
3:16:22	のところまでコンクリートにするのかそれとも何かある程度もう何かもうエリアで、コンクリートでやるのかとか、その辺って何か今現時点で何か、
3:16:30	方針って何か決まっていますかね。
3:16:41	北海道電力の要旨です。基本的に実際の対応として、コンクリート
3:16:51	を流線の流速分布に応じてコンクリートとアスファルトきっちり分けるのか、或いは、ちょっとどこまで保守性を見込んで、
3:17:01	コンクリートを採用するのかっていうのはちょっと現在検討できてございませんので、また改めて検討してご説明させていただきます。
3:17:11	はい規制庁藤原ですわかりました。今許可の段階ですし、あとこれ、何らかの設備っていうわけでも多分ない。先行船からも多分、
3:17:21	ないように思いますので、一応どういう範囲をイメージするかという大まかな方針だけちょっと何か、何となくイメージがあるといいのかなと思います。
3:17:31	このコンクリートとするっていうふうにちょっと着目したときですね、これは何かイメージとしてどんな構造なんか持たれていますかね。過去
3:17:42	あそこなんですかね下から 123 行目。
3:17:46	一方が座るとっていうところでいくと、なんか舗装表層舗装直後のアスファルト混合物間のせん断強度っていうふうに書いてあった要はアスファルトっていういろんな、
3:17:56	そうだっていうそれぞれが薄い層があるからその層間のせん断強度を使えば、剥がれルーという抵抗になる、多分そういうふうな、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:18:06	意図なんですよこれって。ほんで、
3:18:09	コンクリーにとってどうなのか。いや、
3:18:12	コンクリートでも何か1センチしかやられず、コンクリートですし、或いは何か、50センチでもあったらコンクリートどっちなのかなってというのがあって、今、事業者はあるんですよ。
3:18:22	コンクリートのせん断強度を比較対象してるんすよね。それとの、
3:18:27	今後ぶつかる、だから多分結構分厚いコンクリートをイメージしているのかなと。
3:18:32	このあとじゃあ具体的に、こういうふうなクライテリアを使うのであれば、
3:18:37	どれくらいの厚みかなって何か今、検討とかって、何かあるんですかね。
3:18:42	北海道電力の室田です。今コンクリートを採用するというのを今コンクリートの舗装をイメージしておりました。
3:18:50	具体的に厚さをどの程度まで厚くするかまではですね検討できておりませんが、
3:18:59	検討できておりません。検討できてない状況になってます。はい。以上です。
3:19:05	はい。衛藤規制庁藤原です。
3:19:08	少なくともあれですね費、
3:19:11	恐竜しないようなそんなイメージの、
3:19:14	ナカマな活動しないとかそういうや地震力を譲っても活動してそういったところに、何かちゃんと結論を結びつけていくよう、この知るってというのは、もうちょっとロジックが、
3:19:25	作っていただけるようにお願いしたいと思います。
3:19:29	その次の方に行きまして今度改定の方、
3:19:33	652 ページの方から要は改定の専決による
3:19:38	記載があつてですね。
3:19:40	事業者の今日説明がなかったんで私が説明すると、これ事業者は何かいろんな文献で、甲斐第一波ではセンクツの影響は、
3:19:50	なかったです。第2は置いといてっていうのが、650人の森下タカハシで、653の今言った今井さんっていうのは、北上川火口から大分離れた
3:20:01	8.6キロのところで、あんまり変わんなかったですよねとか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:20:06	なんかいうな、各文献の内容があつてで、655 ページにまとめ、
3:20:13	文献レビューの結果以下に示す。うん。文献は、確かにこのポツ って書いてあるものと、656 で書いてある、要は文献がそうです ね。はい、じゃあ泊は、
3:20:24	ていうところがわかんないです。
3:20:26	つまりは、さっき言ったように第1、ぱいのみならず、第2はと か、
3:20:32	第3とか4とかいろいろありますよね。
3:20:35	その影響ってないんですか。あと、
3:20:37	さっき今井他って言っても、北上川河口から8.6キロって言っ てるけど、そんな遠くないよね泊は、
3:20:46	そういうところがちょっとまず、この説明のロジックがまずなっ てないっちゃうのが、一つ、要はちゃんと文献を整備するのは構 わないですけどさっきの話もありましたよね。
3:20:56	泊としてどう、適用できるんですかっちゃうのがやっぱ、うん。 今日の資料は全体的にそうなんですね、足りないんですよ。
3:21:06	なので、悪い人が見るとこう論理をすりかえてるんじゃないかっ てやっぱ思われちゃうんですよね。ですんで、ちゃんとそこは説 明をきちっとしていただく必要があるんで、
3:21:17	あともう1点。
3:21:18	これって何すか、砂移動解析とかっていう今結果はまだ出てない んですかね。
3:21:33	北海道電力の吉井氏です。まずセンクツの文献につきましてはで すね今、文献のレビュー等を取りまとめている状況でご指摘あり ました通り、
3:21:46	ちょっと泊への適用性そういったところのロジックがなっていない のでまた、その辺り資料を充実化したいと思います。
3:21:56	そして砂移動解析につきましてはちょっと現在まだ本解析には至 っていないんですけれども、試解析をしている状況で、ちょっと まだ結果は、
3:22:07	今、
3:22:09	わからないんですけれどもそういった状況でございます。
3:22:13	そしたら次、フジキ規制庁じゃないけど砂移動解析の試解析みた いなところで、イマセ新婦っていうかなんか結構海底が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:22:24	あれ事故条件保守的かと思うんですけど、どれぐらいな地形が変化するかって何かわかるような気もしたんですけど。
3:22:31	それで、何か今の、何かいえることって何かありますかね。
3:22:43	北海道電力のよろしです。イマセン苦痛の深さ的にはですねちょっと司会関井で、明確なものではないんですけども、
3:22:56	大体その港湾公害あたりは平均的に0.4メートル程度のセンチ量、局所的にはちょっと大きい仙骨量が出ていると。
3:23:08	というような状況でございます。
3:23:15	はい規制庁ちゃいます。なんかそういったものもう説明に、
3:23:20	加えることはできないんですかね。ごめんなさい。なんか、
3:23:24	ちょっとまずですねこの652ページっていうの、
3:23:28	まず概要1ポツ、
3:23:31	今、下から2行目とか、交流の必要性について検討するって感じですか。
3:23:38	まずこっでまず、発生の可能性ですね、何か考慮の必要性って、本当は必要ないと思ってるけど、みたいにちょっと後ろ向きに見えるので、まずそのそういったセンチの発生の可能性が、
3:23:49	ありやなしやというのがあってそれで、あとじゃあ今度その地形変化が、
3:23:53	あり得るし、その地形変化がその入力津波に影響あり話し合うとかいくつかの段があると思うんですね、そういったのをちょっとまず順序立てて今後説明を。
3:24:02	しない。した方がいいので、結論から言うと多分今回
3:24:07	まだ決まらないのかなっていう印象で、さっきパワーポ0センチ可能性は、
3:24:12	ないって言い切るにはまだ
3:24:15	そこに至ってないような印象を受けたんですけど、私等、今事業者の間って認識でやってますかね。
3:24:42	北海道電力の吉井です。
3:24:44	一応参考資料7、652ページからですけども、ちょっと先駆Ⅱ自体は、生じうる。
3:24:56	ものっていう前提はあるんですけども、津波水位や流速への影響はないというような結論をしてございまして、パワーポイントの方にも入力津波の影響要員の数、
3:25:11	まず影響要因にはしないというような流れで説明をして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:25:16	ございます。
3:25:18	ちょっとスライド解析のを載せるというようなお話もございましたけれどもそちらについては、もう少し結果を
3:25:29	状況を踏まえて資料を充実化を図りたいと考えてございます。
3:25:47	規制庁藤原です。
3:25:49	パワポの 22 ページで、
3:25:57	し、真ん中やや下 2 行あるですね。
3:26:01	センクツってというのがあって、
3:26:05	これさ、陸域海域はもっとアサノしてやるか。
3:26:09	影響はないため、
3:26:12	影響見られないため、既往文献から影響は見られないため、
3:26:17	要因として設定しない。いや、これって何かだから今回、
3:26:22	さっき私言った内容を踏まえると、何か説明が足りないような気がしたんですけど。
3:27:10	北海道電力の吉井です承知いたしましたこちらの今、参考資料 7 の方の記載の充実化が必要というようなご指摘を踏まえて充実化させるんですけども、
3:27:23	その結果を踏まえて、パワーポイントの 22 ページの海域のセンクツの評価をしていると、今ちょっと結びつきがわからないような記載となつてございますのでそういった結びつきがわかるように記載の適正化を、パワーポイントの方でも、
3:27:41	図りたいと考えてございます。以上です。
3:27:44	藤規制庁します。ちょっと今、参考資料 7 コウノまとめの 650 ニワ記載の適正化というお話があったんですけど私、
3:27:53	センクツて地形変化が、
3:27:56	あるように見て今、試解析でも、実際に変化がスナガワですよ、あるとなってるのであれば、
3:28:04	何か影響があるのではと。
3:28:07	いうふうな疑問をん所以外って、今話をさしていただいているわけですね。例えば 653 ページ見てもらっていいですか。
3:28:17	653 ページはこれは、この森下タカハシさんという文献のやつですかね。江藤第 1%。うん。あんまり移動相も固定。
3:28:28	非常、いうかっていうのはないですけど、変わりますよね。
3:28:32	でも第 2 はて変わってますよね。
3:28:35	じゃあ泊どうなんですかっていうことを今、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:28:39	一応言ったつもりだったんですが、
3:28:42	今この分事業者の650人のやつですか、652ページの下から2パラ目の下から3行目ですか、第一波に依存することが多く、影響受けなきゃこれ第一波の話しかしないんじゃないですか。
3:28:56	第2はは影響受けてますよねこの文献。
3:28:59	泊は、
3:29:02	あとさっきの試解析では地形変化が起きる、じゃあ、
3:29:05	何か変わり得るんじゃないんですか。
3:29:08	ていうのが私が言いたいことですけど、一応伝わってますかね。
3:29:12	記載だけじゃないです。
3:29:15	うん。
3:29:22	北海道電力の吉江さんご指摘理解いたしました。ちょっと第2はの影響もあるのではないかというようなご指摘でこちらの
3:29:33	資料では、答えにお答えできていない状況でございますので、ちょっと参考資料7全般を含めて、
3:29:42	資料を見直しましてですね、それで、センクツによる影響はないかどうかということも含めましてですね、妥当性を検討しまして、資料の適正化を図りたいと思います。以上です。
3:30:07	規制庁中房です。栗田Cは資料1-1の34ページで、記載の適正化だけの話なんですけど、
3:30:18	34ページにですね、
3:30:20	地形変化の組み合わせと言って、
3:30:24	9人、17.86メートルが最大ですってこれが出てくるんですね。
3:30:30	17.86メートルっていうのは、その前のページの33の一覧表にも出てきていないと。
3:30:39	で、そうすると、この地形変化のこれはどうやって出たかっていう図が必要だと思うんです。
3:30:47	この図をよく見ると、資料1-2の3、
3:30:53	309、さ、611ページに、
3:30:58	図2ポツ1fポツ、H-1っていう図があるんで、
3:31:03	これを添付すればいいのかなと思うんですけど、その点、見やすくするっていうか
3:31:10	パワーポイントの内容の充実を図って欲しいなと思ってるんですけどいかがでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:31:20	北海道電力のよろしです。ご指摘承知いたしました。34 ページの 2 メーターの海域沈下等地すべり地形 1 の組み合わせた、
3:31:33	コンター図といえますか最大流速分布がわかる図、ご指摘いただいた通り 601 ページの図に該当しますのでそちらをパワーポイントに反映するようにいたします。以上です。
3:31:46	はい。よろしく申し上げます。私から以上です。
3:31:51	はい。江藤規制庁藤原です。私の方からちょっと連続して細かいところも含めて言います。パワポの資料 1-1 の 24 ページ。
3:32:03	24 ページは、
3:32:10	これきさいだけなのかもしれないですけど、黄色ハッチングの四角囲みの中の※下のほうの※1 の、
3:32:19	地すべり地形 3 のうちこれこれを崩壊範囲とし、放管範囲の設定は、今後ご説明するっていうふうになってますけど、これはあれですかね、1 月の末の審査会合では、
3:32:30	まだ説明しない。
3:32:32	何かまとめ資料見るとなんか入ってるんで、これは記載の間違いとかですかね。
3:32:39	北海道電力の吉江さん申し訳ございませんこの米印 1 につきましてはちょっと誤記でございまして、今回の時、
3:32:48	位置付けとしてはもうなしということで、す。
3:32:52	ということになります地すべり地形さんの、その崩壊範囲の設定につきましてはまとめ資料の方に記載してございます。
3:33:01	まとめ資料の参考資料 10、10 の 660 ページから、
3:33:07	になります。以上です。
3:33:10	はい。規制庁藤原です。それではちょっと、うん。この参考資料 10 の衛藤 660 ページ、資料 1-2 の 660 ページ、
3:33:19	からの話をちょっと私、お話しさせていただきます。今日説明は、
3:33:24	なかったんですけど一応説明したという点になっているので、
3:33:27	確認するんですけども、660 ページは地すべり地形さんっていうのが、岩盤と堆積物っちゅうのがあって、堆積物があるところ、どの範囲を、
3:33:41	崩壊をするかっていう整理がなされていますと。
3:33:44	原則的には 662 ページかな。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:33:49	この右上の防災科研の滑り範囲っていうのがあって、その範囲を幾らかこう、もうちょっと、何かこういうふう、実際、北電として調査した結果、
3:34:01	こういうふうな形なんじゃないかっていうのが、調査欠地調査結果ですかね。含めて整理されてるっていうものだと理解してます。
3:34:11	この手法は多分ハザード
3:34:14	の審査、陸上地すべりですか。
3:34:16	あと先行のそういった陸上地すべりの津波の審査で、一般的に用いられているものと思いますが、
3:34:24	そういう記載がちょっとあまりないんですね。例えば 663 ページ見ていただいたときにですね、
3:34:30	1 番目で目立つのは、
3:34:33	一番下のパラグラフ、ブロックの宗佃のあれですね崩壊ブロックのことですね、層厚は、高速道路調査会括弧 1985 より 15 メーターと設定し、
3:34:46	なんだってなっちゃいますので、
3:34:48	まず実績いらっしゃってるのと、せめてですね何だっけあの確かあの幅、幅だったかなと深さの関係の表があったかと思うんでそれは、
3:35:00	示していただきたいです要は新しく出てくる手法か否かっていうことだけがちょっとよくわからない状況なんでそこをちょっとまずやっていただけお願いしますその点よろしいですか。
3:35:14	サイトウ電力の室田です。この今ご指摘ございましたブロックの層厚の設定方法のこの高速道路調査会を使った、手法についてはハザード側でよく使われている手法ですので、
3:35:26	それがわかるようにするのとあと、どういうふうに設定するかの模式図もありますので、その辺も資料に追加したいと思います。以上です。
3:35:35	はい。衛藤。
3:35:37	あと、663 ページのところだったかなちょっとね、
3:35:45	少々お待ちくださいね。ちょっとページをちょっと間違えてました。669 だ。
3:35:50	661 ヒライてもらっていいですかね。今度は、
3:35:55	実例 1 計算の表層の話は、崩れるからわかりました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:35:59	ということなんすけどこの岩盤の方ですね。
3:36:03	地すべり計算の岩盤部。
3:36:06	で、結構赤字でたくさん書いているんですけど、
3:36:11	結論はだから、地すべり地形2と同様に、S _s で崩壊しないと考える。
3:36:18	ちょっとこれ、ほかにも考えるということはやめていただきたいんすけど、崩壊しないってこれ、資料全体を見渡してちょっと言い切ってくださいね。で、これちょっと記載だけですけどね。
3:36:30	そもそも論としてこの2と同様に、崩壊しないって言ったら、3もじゃあこれS _s で壊れないことを、さっきのシートなんですかね、滑り安定解析やるんですか。
3:36:41	というふうに、
3:36:42	まずそこワー、どうですかねやるんですかね。
3:36:45	ニワやるって、さっきお話あったんですけどさんもやるんですか。
3:36:51	北海道電力の吉井です。地すべり地形についてはすべて解析はするんですけども、3につきましてはこの定性的な説明とさせていただきます。この地すべり地形、
3:37:04	2で岩盤が健全であることを示すその結果を流用して、同じような岩種、
3:37:13	岩盤を持つ地すべり地形さんについても健全であるというような説明をここではさせていただきます。以上です。
3:37:20	藤規制庁藤原です。アクセスルートとか斜面の評価を見られたことありますか。
3:37:30	代表性っていう言葉ご存知ですか。
3:37:34	斜面を代表する。
3:37:37	そういう示しつもりはありますかという質問なんですけど。
3:38:07	はい。北海道電力のものとですねちょっとアクセスルートの代表性の資料についてちょっと確認させていただきたいと思います以上です。
3:38:16	はい。規制庁藤原です。わかりました。じゃあ、江藤スズキまして、
3:38:22	細かい話連続させていただきますとまとめ資料の1-2の方の96ページを開いてください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:38:34	96 ページでは、助成セキを下回る時間に関する、これは最大数、水の抽出ポイントの話がここで書かれてるんすかね。
3:38:46	その 95 ページアノ係の表で、
3:38:49	平面図であるような要は、
3:38:51	その場所、あるエリアを、
3:38:53	中出市バーン、どこがきついものを選ぶかっていうのに関するの記載があるの 96 から 97 であると。
3:39:01	で、
3:39:02	女性セキについては
3:39:05	もともと時間で評価する。
3:39:07	ていうふうな話でやってて、
3:39:09	多分費用は形を抽出するポイントもきっと時時間でやってるだろうなど。
3:39:18	見たところ、
3:39:19	多分違いますよねこれ最大水位下降量で。
3:39:23	結論は何かや。
3:39:24	出るんじゃないかったでしたっけ。
3:39:27	要は時間で比較して欲しい、した方がいいんじゃないかっていう、言いたいだけなんすけど。
3:39:34	この 97 ページとかはあるんですね何かアカせんが、
3:39:37	最大水位下降量と言ってるけど、これが、
3:39:40	そうですねそれも加えて時間も、
3:39:43	必要なんじゃないですか。
3:39:45	ていうことすけど。
3:39:59	北海道電力の室田です。どうぞ。
3:40:02	今まとめ資料 1-2 の 97 ページですと時価時刻歴派遣の比較しかしておりませんで日本の基準津波等加工時間に着目してますので時間に
3:40:15	について比較したものを追記できるように検討いたします以上です。
3:40:22	はい。規制庁フジワラですわかりました。続きまして 98 ページ。
3:40:27	開いていただいて、
3:40:31	98 ページのタイトルはこれ放水コウ評価項目した波源ノダとせん。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:40:36	というふうに今なっててですね。
3:40:38	でも実際っていうことは多分これ放水コウノ最大ケースを波源レースの方スイッチに入れることの妥当性だと。
3:40:48	思ってるんでちょっとタイトルがまず、
3:40:51	何か基準津波の話をしてるかのようになるのはこれちょっと、まず訂正した方がいいと思うんですけどこれ、いいですかね。
3:41:15	北海道電力の吉井です 98 ページの、ちょっとは下の妥当性という記載については、ちょっと適正化を図りたいと思います以上です。
3:41:27	規制庁藤原です。それを踏まえてここで言いたいのは、この章で言いたいのは要はホース 1、
3:41:34	に流入する水の量というのはそんな大したことないですよっていうのを、この 100 ページで言ってるんですかね、きっと。
3:41:43	この 100 ページにおいて、赤が、
3:41:47	放水コウ、
3:41:50	青がホース 1、
3:41:53	横 2、黄色い破線引っ張っているのが、ホース 1 の天端高。
3:41:59	だから、大半の時刻においては、放水路から流入するものがない。
3:42:07	というふうに多分言いたいん。
3:42:10	ですよ。
3:42:13	今日説明なかったんですけど。
3:42:24	北海道電力のよろしです。
3:42:28	どちらかといえば
3:42:32	99 ページに記載しているような放水コウの、
3:42:38	入力は経営とホース 1 の入力は系、これらがもう概ね同じ傾向を示していることから、
3:42:45	水位上昇のメカニズムは、放水コウもホース位置も同様であると。
3:42:51	いうところを基本的に説明したものとなっております。
3:43:00	規制庁藤原です。概ね同じ傾向で 100 ページでいくと、
3:43:04	ちょっと概ね木口って言われると、何かカトウ、赤い線と青い線がほぼ一致してる。
3:43:11	イメージなんですけど何かこうずれたりとか、一方なんかとんがってる。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:43:16	うん。ものもあって、
3:43:19	どういうと、なかなか、
3:43:21	見がたくて要は、
3:43:23	言いたいのは定性的過ぎて何か、何言ってるかわからないんで、もっと定量的に何か示すことできないんですかっていうのが言いたいことなんすけどね。
3:43:30	例えば水野、
3:43:32	出入りの量を何か総量として示すのか或いは最大時刻を示す範囲においてのその比較とか、もうちょっと何か定量的に何か示せないんですかね。
3:43:43	何となく 100 ページ見るとそんな大きな傾向はないのかなという印象をちょっと抱いてはいるんですけどただ、この説明だけだとちょっと余りにも何か、
3:43:52	若菜石堂様と言われると同様にちょっと見えなかったんですね、この件どうですかね。
3:44:02	北海道電力の吉井です。ちょっと説明としては定性的なものになってますので、定量的にどこを比較してどうなっていると、いうことで放水コウ、
3:44:15	当間放水地で同様の傾向を示すということを説明するよう、資料を見直したいと思います。以上です。
3:44:23	はい。規制庁藤間です。わかりました。じゃあ、続きまして、
3:44:27	同じまとめ資料の 606 ページを開いてもらっていいですか。
3:44:33	イトウ 606 ページにあれですかね消波ブロックと中尾李氏の設定根拠っちゅうのがあるんですけど。
3:44:41	ちょっとなかなか割りしてそもそもこれ何か機能期待してたんでしたっけ。
3:44:47	某は、
3:44:49	津波波力防低減機能だとか、
3:44:53	波及的影響軽減機能とか、
3:44:57	要は何か何か、まず大前提が何か、この前のヒアリングでも何か、そもそもこれって何、何っていうのがあってそこも、
3:45:05	何か変えたほうがいいような話も言ってたんでな気がしますけど。
3:45:10	北海道電力の室田ですまずアノ中有井医師は、
3:45:15	とかですね消波ブロックについて

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:45:17	沈下、
3:45:19	当時、入力津波の沈下量解析を使う時にコガをモデル化してますのでそこにも、
3:45:25	そのモデル化の中に護岸の下はチュウワリ入ってますんでそこに、
3:45:30	を使用してる解析値として解析物性値として入力しているというのが実態です。
3:45:36	うん。宮中です。衛藤。
3:45:38	言い方変えますね規制要求上に達成するのに必要な機能をナカ割Cじわりしか求めてるんですか。
3:45:47	うん。
3:46:01	北海道電力の室田です。そうですね防波堤等もですね影響軽減施設にはしてませんので、特に規制、
3:46:11	上必要な重要な設備のものにこのチュウワリ首藤 を使っているものはございません。以上です。
3:46:18	規制庁白井ですけど。いや、そこをまず何か変えた方がいいのではないですかって
3:46:25	なんすかね今、このサイトにおいて、この物性値は使うけども、ただ一応機能がないものに対しては、こういうふうな設定をするが、もし今後、どこかのサイトにおいて、
3:46:37	まずそういうなんすかね、別の関係使う、そもそも何か機能がないものとして設定しているものと、今後何かどっかで機能があるものとして設定するのは大きく違いがあると思うんですよ。
3:46:50	そこをちょっと明確にしないとイケないんじゃないんですかってちょっと言ってるだけなんですけど、オクツジてますかね。
3:46:56	北海道電力の室田です。この消波ブロック、チュウワリ市等がですね重要施設2の機能。
3:47:04	に重要施設に使うような物性値ではないと、いうことがですね、明確にわかるように資料の、ちょっと構成なりちょっと追記をしたいと思います以上です。
3:47:16	規制庁の江崎です。
3:47:18	もともとね、これ。
3:47:20	あれですねいわゆる敷地の方向が、
3:47:23	の人が敷き詰められてるという状態で、
3:47:26	いわゆる他社でやってるシバなんかも、基本的には、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:47:30	こういう設計入った段階で、不確かさの観点、
3:47:34	これらを大幅に崩壊したとしても、いわゆる津波の影響を軽減しない、または神事の時に地震の時に、側方流動として起きたときに、
3:47:46	自動抵抗としての抵抗にはなりえない。
3:47:50	ということもあって、基本的には、それらがなかったとしても、基本的には、
3:47:56	防波堤、防潮では、健全性は維持できる、要は既津波津波機能アガワだけ津波防護機能は保持できる。
3:48:06	ていう説明になってます。そういう設計は一応出されるというふうには、こちらも考えてるんですけど、そちらの方でも、
3:48:14	ただし、一方で、シマでやっているのは、あまり大きな影響はない。
3:48:21	とは思いますが、基本的にはそのコガ施設が、何ていうんでしょうか。近接するような場合、
3:48:30	既設護岸がその防潮てに及ぼす、
3:48:34	地震時の影響、
3:48:36	波及的な影響があるか否かという観点ではモデル化せざるをえないので、そのときにはこの港湾施設の、
3:48:44	大戸が言ったこういったあれですよ。
3:48:46	ブロック、小ブロックとかこういったものをある程度模擬する。
3:48:50	必要が出てくると。
3:48:52	波及的な影響として、そうした観点でいったときに、
3:48:59	そういう、こういうステージバンドとかいった数、
3:49:03	消波ブロックとか小ブロックまでモデル化しなかったと思いますけど、そうしたものについての適用性っていうのを、
3:49:12	実際の創造、
3:49:14	彼らが使っているそのステファンとの、
3:49:20	何だろう、物性値っていうかね、強度を、
3:49:23	変形特性。
3:49:25	そういったものも含めて一応確認はしている。あとはその、
3:49:31	今日動特性で特に滑りですよ。そういったものも含めて、
3:49:38	ある程度適用性があるかどうかを確認してるという位置付けなんですよ、先行サイトは。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:49:45	一方で、
3:49:46	北海道電力は何をしたいのかなっていう形を持ってるんですけど、いかがですか。
3:49:56	北海道電力の室田です。1棟。
3:50:01	ただいまのご質問については、例えば島根さんだと、試験、いろんな押し薬師試験でしたかね、トガシを実施した上で、
3:50:11	例えばせん断強度のC-20とφの35ワダ等ですけども、C、保守的にC0にしてやります。
3:50:20	というような確か説明をしていたかと思えますけどもそのような考え。
3:50:25	ノモトでやらないのかと、というようなご質問ということでよろしいですか。
3:50:30	規制庁ないときはそその前の入口論で、
3:50:34	藤原が言っていたように、何のためにやってんだっていう、
3:50:38	ことの中で、今、例示を挙げてそういう使い方として、同じような先行サイトと同じような扱いで、これらを使おうとしているのか。
3:50:47	逆に、これらをモデル化して、防潮では、側方流動もしませんと言うっていう、そういう要は自動抵抗、
3:50:56	下は、これによって期待されるという、
3:51:00	季節効果によって、
3:51:04	担保されるという理屈で設計方向とするのか、その辺の話としてその位置付けは何なんですかねって言って、単にモデル化として多々出てくる話なのか。
3:51:15	もう後は波及的な影響の懸念があるから使うのか。
3:51:20	いわゆる
3:51:23	ここのその妥当性とかソネその設定根拠っていうのは、どれだけ重要設計耐震設計において重要性があるものなのかを聞いているんですけど、
3:51:34	北海道電力の室田です。沈下量解析上はですねまた耐震設計とか津波防護施設の設計に用いているような解析ではないので、
3:51:46	まず位置付けがちょっと低いと思ってます。一方防潮ての方はですね、
3:51:53	護岸があるケース。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:51:54	について、違います。ちょっとですねその護岸歩け今は護岸が全くない状態で成立性を示している状況だったと思います。今後、
3:52:04	この設工認なんか行った場合にですねコガモデル化した場合の影響等を確認する。
3:52:12	ええのかどうかですねちょっと社内に持ち帰ってですね、位置付けちょっと考えたいと思うんですけど。
3:52:20	手順書だけですけど、粗相を詳細設計段階行ったときのまず基本、
3:52:25	ケースとしては、あれですか包丁で、ちょっと前面の部分がないものとして計算するという話で、不確かさケースとして、逆にその
3:52:36	前面に敷地地盤だとかそこがあるケースというふうに、
3:52:41	それ波及的な影響の観点でっていう。
3:52:43	ふうな方向で今方針は進めてるってことでよろしいんですかね。
3:52:50	北海道電力の高橋ですけれどもそういった理解でございます。
3:52:55	わかりましたそういうことであれば、基本的これはあくまでも敷地の入力津波の設定に関わる地形、地震における地形変化、
3:53:05	を設定するために、一つ決めるパラメータである。
3:53:10	と言うことと、その後それは今後つつ、
3:53:14	どの段階で確認するかってのはあるかもしれないけど、調査設計段階で行う、A、A、防潮での地震時の波及的な影響、
3:53:26	そういう観点で、もうこれは使用する可能性があるかと。
3:53:31	いう二つの間、用途があるというふうに理解していいですね。
3:53:37	北海道電力の室田でございます。江藤今野エザキさんの認識で問題ないと考えてます。
3:53:56	はい。
3:53:57	規制庁藤江です。この606、10、666、失礼しました。606ページのタイトルが要は、
3:54:07	何か
3:54:09	何を目的としたものに対する設定根拠価値、実験の方も一緒ですよ、何かの目的があってそれに対しての根拠と妥当性というのがやっぱあるとしたら、当然そういった今、
3:54:21	庄内、うん、今日は明確にしてもらってこれはさ、入力津波の設定だけにしか使わない。
3:54:27	それ以降のやつはまた改めて話をする。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:54:32	はい。
3:54:33	そういうことを明確に今度、まずしてください。
3:54:37	はい。北海道電力の室田です。この参考資料2の扱いについてどの範囲で使用するものの中を明確にして、したいと思います以上です。
3:54:47	はい。衛藤規制庁です。そういった意味でだから611ページを見た時にですね、一応今回その資料をいろいろ見たら、611ページの1パラ目では何か港湾基準では、
3:54:59	Dマックス25mmから200ミリ、
3:55:02	呉を対象に、何ですかねこれ。
3:55:05	それに対してじゃあ泊はっていうと、なお書きが真ん中であって、80と500っていうのがあってちょっと、
3:55:14	500ちゃんと外れてるけどもそれはだからモクモクで聞いがに対して、そういうふうな状況だから要は範囲は違うけども、
3:55:24	いいし、だからなお書きでやってると。
3:55:27	いうふうな花強い。
3:55:30	と理解していいんですかね。そこはちょっと何かいまいちどこまでこれが何か外れてるけど大丈夫なのってちょちょっと一瞬思ったり。
3:55:38	したところで、
3:55:43	北海道電力の室田でございます。江藤泊のチュウワリについてちょっと500mm採泥500mmとちょっと大きめになってますけどもこの文献1が使えるというふうに考えて記載してございますけども先ほどの、
3:55:56	からもご指摘あった通りこの物性値の扱いですかね、それらも踏まえてちょっとこの辺の追記はしたいと思います。以上です。
3:56:07	はい。
3:56:08	わかりました。
3:56:10	続きまして、ちょっと資料は別の資料資料1-4というものをですね、
3:56:16	資料1-4の9ページ。
3:56:30	記載だけですな資料1-4の9ページで、
3:56:36	麻生加古Officer、可燃物が積載された車両の表裏については、要はタンクローリーの話ですか、去年12月に出したものについてこれ回答予定時期がなんか1月になってて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:56:48	通常1月は黄色ハッチングになっているところ、まず黄色ハッチングがないっていうのが変だし、多分これ実際ずれるんですかね。うん。ちょっといろいろ整合とれてないんで、
3:57:01	今一度資料全般的に見直し、もう1回見返して欲しいんですけどいいですか。
3:57:08	北海道電力の高橋です。ご指摘の通りですね、9ページのところを、我々もこれ、1月、当初は1月と思ってましたけれども、今1月ではできないと思ってますので、他も含めて見直したいと思います。
3:57:25	はい。規制庁檜山ですもう今日説明はなかったんですけど資料1-6。
3:57:32	ていうのが、
3:57:34	あると思います。
3:57:43	はい。資料1-6っていうのがですね。
3:57:50	指摘事項が
3:57:51	訴状状態で解析結果を踏まえて説明すること説明はされてるんですけど、
3:57:56	五味さんこれ、
3:57:59	次のページを見たときに、
3:58:02	このぐらいふうなんか読みづらいんですけど。
3:58:07	これなんか、緑色の線がナカ曲線のやつがあって、
3:58:11	曲線にナカセが一本ピッて引っ張ってあったりとか、
3:58:15	あと青も何か曲線のやつとか下刈り直線がピッて引っ張ってあったりとか、
3:58:21	これはセキ。
3:58:24	何か意味がある。
3:58:27	これは、
3:58:28	何でしょうかね、中、
3:58:56	北海道電力のよろしです、すいませんとして聞いなんですけれども、このリュ流量の0とか4とか8の横の線とか、
3:59:07	地震発生後の経過時間の600、700800、900秒とかこの縦と横のラインがあって見づらいとそういうご指摘でしょうか。
3:59:29	ちょっと今、図をもってしますでしょうかね。
4:01:39	北海道電力のエンドウ施設申し訳ございませんちょっと印刷した時にちょっとその緑とか青のラインが出てしまった。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:01:48	ようなところですのでちょっと字グラフを修正しまして再提出いたします。以上です。
4:01:54	規制庁チャンスわかりました。ちょっと一応このグラフの何か趣旨、
4:02:00	私のコメントの趣旨も踏まえて何をこれ説明しようかとしているのかなというふうになんて今思ってたところでちょっとこれ確認だけなんですけども。
4:02:10	緑色の放水量入口流量ってあるじゃないですかこれは、
4:02:14	何だっけなさん。
4:02:19	2立米かな。
4:02:21	なんかコンスタントに出ている一方で何かコウ曲線でいくと何かこうすちょっと曲線が下がっていった。
4:02:28	或いはハウスイ、
4:02:31	どっちの入口の流量というのが補機厚生の利用ってあんま変わらないイメージ。例えば、1ページ目の、
4:02:38	何ですかこの青い
4:02:39	矢印の。
4:02:41	借りてくるのが、
4:02:43	緑なのかなあとか思いつつ、
4:02:46	うん。
4:02:48	なんかいまいちこれ何かよくわかんなかったんすよ。
4:02:53	もう口が違ふんすかねもしかしたら違ふみたいな、もうちょっとこれ、何かあまり話じゃないですね、じゃあこれ出し直して。
4:03:03	はい説明してください。はい。
4:03:06	私は以上です。他、何か確認と、すみません。よろしいですかね。
4:03:13	はい。
4:03:15	ウェブで参加の下た。
4:03:17	何か確認したいことございますでしょうか。
4:03:21	よろしいですか。
4:03:35	規制庁フジアベそしたらじゃヒアリングコメント回答リスト。
4:03:39	に基づき、言うコメントの、
4:03:42	継続か否かというの資料1-5ですかね。ていうのを確認したいと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:03:48	ちょっとページ数は置いて、ナンバー、
4:03:53	行っていきます。ナンバー5。
4:03:57	これについては
4:03:59	基本水コウノ。
4:04:01	さっきスイッチの話ですかね。一部ちょっと定性的っていうか定量的、
4:04:05	でもやっていただけるように、
4:04:08	お願いしましてそれは別途コメントで管理したいと思うので、これについては概ね了として、あと進めさせていただきます。
4:04:17	その次、9番、
4:04:19	これも拝領とします。はい。
4:04:24	何か他にも何か色は、波力とかの話だったんですけどあれは別で管理したいと思います。
4:04:30	26番、
4:04:33	この量、
4:04:35	はい。
4:04:36	セキだけちゃんと書けない。そうですね、目的とか使用目的、
4:04:43	じゃ、はい、26番、概ね量です。
4:04:46	27番、
4:04:49	はい。これについても
4:04:51	了とさせていただきます。
4:04:53	次34番。
4:04:57	これは今日なんかいろいろお話ししていただいた
4:05:01	そ運輸省コウ3号炉の話では継続とさせていただきます。
4:05:07	その次、36番。
4:05:10	これは量ですね。はい。これは量にします。38番。
4:05:17	これも量ですね。はい。
4:05:19	3、48番。
4:05:23	これ、そこは無料です。今日は何か良いと一部コメントですけども了としておきます。
4:05:29	次、57番、
4:05:32	へえ。
4:05:35	コース。
4:05:37	これはあれか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:05:39	うん。なんか今日実質介護のコメント、
4:05:43	回答のお話にも繋がるので継続としていただきます。
4:05:47	次 64 番。
4:05:52	登録順番膨張ての、地上施設において、
4:05:57	これはそうですねまだ継続食うということですね。
4:06:01	これ
4:06:02	今日は話が、
4:06:04	冒頭であったかと思う。継続よろしいですか。
4:06:07	はい。
4:06:09	別ん次は 67 番、
4:06:12	海域のセンクツについてはこれも継続とさせていただく。
4:06:16	聞きます。
4:06:19	どっちもですね。
4:06:28	続きまして、68 番。
4:06:31	継続ですね。はい。
4:06:34	69 番、これは継続ですね。帰属というか、今日は説明なかったですね。はい。
4:06:41	70 番。
4:06:43	そうですね。70 番はこれも 10 秒ですね。はい。
4:06:50	71 番は、もうちょっとロジックがちょっと整理して欲しいんで継続させてもらいます。
4:06:56	72 番はこれはわかりました経営量です。
4:07:01	その次、75 番。
4:07:05	アカイシ係数のか、そうですね一応これですという。75 番は量ですかね。
4:07:13	同じ。
4:07:16	量ですね。はい。
4:07:18	76 番、
4:07:20	これも量ですね。
4:07:27	なんか一応なんかアノ込今日説明の方ですけど、直、
4:07:32	何か二つの何かOBを示した資料が何か方策に、
4:07:37	出せた。
4:07:39	だと思っすけどあれ違います。
4:07:44	ちょっとお待ちくださいね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:08:33	一応この 87 ページ、要はは系の
4:08:38	評価ポイントとかいうところもあと 88 ページ以上、前面の評価範囲と直前の 1-17 っていう傍聴店全部についてこういうふうな
4:08:48	やってる、一応、別の点で話をしていますけどこのコメント草間良とさせていただきます。
4:08:54	はい。その次、77 番、
4:09:02	これはそうですね。
4:09:04	料量ですね。はい。別の感覚ではまた別の法律顧問会等管理します。
4:09:10	79 番は拝領としてします。
4:09:14	以上。
4:09:15	何か追加の規制庁側のコメント或いは北電からの確認ございます。
4:09:27	大丈夫そうですね、はい、じゃあ、今日の本日のコメントの内容、事実確認事項の内容を整理しますので、一旦文字起こしを停止しす。
4:09:38	はい。規制庁千原です本日の事実確認事項、内容が整理できましたので読み上げます。
4:09:44	地すべり地形②について影響要因として考慮しないとしているが、81 ページではツジ項目としての記載整合を図ること。
4:09:53	また評価の見通しについて示すことができるか検討し説明すること。
4:10:01	はいその次いきまして、資料 1-175 ページに、※4 の保守性を考慮した時刻歴派遣について、どのように保守性を考慮するのが検討の上、今後説明すること。
4:10:12	波力の設定についても適用する水位、流速、時刻歴関係の考え方等、資料に整理し今後説明すること。
4:10:20	その次いきまして、波力評価における影響要因の抽出にあたっては、個別フローを作成することも含めて検討を行い、押せ、網羅性を説明すること。
4:10:32	ではその次いきまして、
4:10:33	管路の固有周期による影響についても考察を行い説明すること。
4:10:38	その次、最終的には 1 次元解析モデルの妥当性の説明が必要であることを踏まえた設計方針、水理模型実験及び 3 次元解析の位置付けについてフローを用いて整理し説明すること。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:10:56	はい。その次、
4:10:58	制限派の基本ケースについて、実験と実測の差異や再現性保守性についてはためて整理し説明すること。
4:11:10	その次、
4:11:11	流路縮小工水、ホエー損失係数及び流路縮小工の縮小効果の妥当性を評価するという水理模型実験の二つの目的を踏まえ、現状の評価、(ハ)原野周期の適切
4:11:23	性含むです、満足しているのか、そういうのを説明すること。
4:11:27	今矢印として他の上部への影響や上流条件、感度解析ですね、決まってない現状を踏まえた流路縮小工の妥当性検証が滞在設計方針の中でどのような位置付けとして進められるのか。
4:11:38	広い視野を意識した説明を執行すること。
4:11:54	とそう、そうですしコマツですね。
4:11:58	はい。説明をすることっていうことで、はい。その次、
4:12:02	振幅の設定においてT-300の水位上昇分は約17メートルあるので、片振幅7.5メートル保守的な設定であるのかを確認し、改めて説明すること。
4:12:15	その次が、波源の選定位置と実際の派遣入力値が異なることから考え方と保守性について説明すること。
4:12:24	じゃその次、
4:12:25	水理模型実験で確認できる損失水頭は現状では現体系の損失イトウのみとなっており、3次元解析の妥当性確認データとして1点のみであることから、個別の構造不連続部の損失等が確認できないか等を、
4:12:39	考慮の上必要に応じて実験モデルの変更要否を整理し説明すること。
4:12:44	その次、水理模型実験の目的を冒頭に記載の上説明すること。
4:12:55	その次、1次元解析モデル適用妥当性の判断基準について、記載の上説明することでその次、放水路、放水炉等の本章モードを網羅的に整理し、数が増えた入力津波への影響要因の考え方を説明すること。
4:13:09	その次、電力土木業協会、伊井及びカワサキほかの既往文献の泊発電所の適用性について説明すること。
4:13:26	その次カワサキ他の既往文献。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:13:29	当社が没水失礼しました。その次、文献が、公開性及び査読付が確認することと記述じゃない場合はみずから文献の研究としての妥当性を説明すること。
4:13:47	その次、文献レビューを踏まえた泊の適用性について説明すること、また先決による地形変化の影響が否定できない場合は、入力津波の影響を整理し説明すること。
4:13:57	また、資料1-1の22ページの記載との関連を明確化すること。
4:14:20	ではその次、地すべり地形③について詳細の評価を行わず、地すべり地形②を踏まえた評価とする場合評価第罷免代表性について整理し説明すること。
4:14:30	その次放水高と放水路を概ね同じ傾向であることについて、定量的な評価も含めて整理し説明すること。
4:14:37	以上。
4:14:38	はい。
4:14:39	北電から何か改めて確認等ございますか。
4:14:44	輸送ですね。はい。今日のヒアリングは以上とS I M M E Rす。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。